

令和5年度
社会福祉法人ユーアイ二十一
事業報告書

目次

はじめに(理事長挨拶)	2
1.法人基本理念	3
2.運営事業一覧	4
3.職員の状況	5
4.各拠点の取組状況	
(1)法人本部	8
(2)特養事業	
1.太陽の家	11
2.太陽の家二番館	14
3.太陽の家座間	17
4.太陽の家横濱羽沢	21
5.太陽の家相模原清菊園	24
(3)短期入所事業	
1.太陽の家	30
2.太陽の家二番館	32
3.太陽の家座間	34
4.太陽の家横濱羽沢	36
5.太陽の家相模原清菊園	38
(4)通所介護事業	
1.太陽の家デイサービスセンター	41
2.太陽の家神大寺	43
(5)居宅介護支援事業	
1.太陽の家居宅介護支援センター	46
2.ケアプランセンター 太陽の家座間	47
(6)在宅系グループ	
1.地域包括支援事業	48
2.看護小規模多機能事業	52
3.小規模多機能事業	55
4.訪問介護事業	60
5.住宅型有料老人ホーム事業	61
6.無料低額宿泊事業	63
7.障がい福祉サービス事業	64
8.認知症対応型共同生活介護事業	65
(7)歯科事業	
1.太陽の家附属歯科診療所・太陽の家和田の里歯科診療所	67
2.歯科診療所優会	68

はじめに(理事長挨拶)

～令和5年度の総括・令和6年度の抱負～

コロナ感染症も昨年5月に5類感染症となり、かつての日常が戻りつつあります。その一方で、この年始には能登半島地震や羽田での航空機事故が発生するなど、あらためて当たり前の有難さを感じています。

そんな中、私たち社会福祉法人ユーアイ二十一は法人設立23年目を迎えます。これもひとえに利用者様やそのご家族、地域やボランティアの方々、行政機関をはじめとする皆様のご指導やご協力によるものであり、心より御礼申し上げます。

この事業報告は令和5年度の活動内容について報告するものです。令和5年度では、横浜市左近山地区の市有地を活用した新規特別養護老人ホーム整備事業の採択を受け、令和7年中の開設を目指し準備に取り組みました。また、住宅型有料老人ホーム事業を終了し、それに代わって新たに認知症高齢者グループホーム事業を開始したほか、小規模多機能型居宅介護では職員確保の困難さ故に太陽の家馬堀倶楽部を休止しましたが、新たに開設したかもめ倶楽部は順調に事業を展開しています。

2025年問題、2040年問題がまさに目前に迫っている中、これからも時代の変化やニーズの多様化に柔軟に対応し、皆さまに愛され信頼される事業運営に取り組んでいく所存でございます。

今後ともご指導、ご鞭撻を賜りますよう、お願い申し上げます。

令和6年6月6日
社会福祉法人ユーアイ二十一
理事長 石渡 庸介

1.法人基本理念

「太陽の家」は、ご利用者の方々の、
「安心」「温もり」「満足」を合言葉に施設運営を行ってまいります。

- ・いつも笑顔の絶えない
- ・温かな心で、ふれあいに満ち、心安らぐ
- ・生きがいをサポートし
- ・尊厳を持って生活できる環境を守り
- ・ご家族、地域との交流を基に、互いに手を携え共に歩む
- ・福祉諸制度、サービス情報提供等、身近な相談相手

《基本方針》

【令和5年度スローガン】

多角的視点 ～ 視野を広く、柔軟に ～

2.社会福祉法人ユーアイ二十一 事業所一覧

(1)第一種社会福祉事業

特別養護老人ホーム「太陽の家」	横須賀市西浦賀	定員111名
特別養護老人ホーム「太陽の家二番館」	横須賀市西浦賀	定員100名
特別養護老人ホーム「太陽の家座間」	座間市座間	定員100名
特別養護老人ホーム「太陽の家横濱羽沢」	横浜市神奈川区羽沢	定員110名
特別養護老人ホーム「太陽の家相模原清菊園」	相模原市南区上鶴間	定員80名

(2)第二種社会福祉事業

太陽の家短期入所サービスセンター	横須賀市西浦賀	定員21名
太陽の家二番館短期入所サービスセンター	横須賀市西浦賀	定員10名
太陽の家座間短期入所サービスセンター	座間市座間	定員20名
太陽の家横濱羽沢（短期入所）	横浜市神奈川区羽沢	定員10名
太陽の家相模原清菊園(空床型短期入所)	相模原市南区上鶴間	
太陽の家デイサービスセンター	横須賀市西浦賀	定員30名
太陽の家神大寺（地域密着型通所介護）	横浜市神奈川区神大寺	定員15名
太陽の家安浦倶楽部（小規模多機能型居宅介護）	横須賀市安浦町	登録定員25名
太陽の家馬堀倶楽部（小規模多機能型居宅介護）	横須賀市馬堀町	登録定員18名
太陽の家逸見倶楽部（小規模多機能型居宅介護）	横須賀市東逸見町	登録定員18名
かもめ倶楽部（小規模多機能型居宅介護）	横須賀市鴨居	登録定員22名
太陽の家浦賀 看護小規模多機能型居宅介護	横須賀市浦賀	登録定員25名
太陽の家浦賀 定期巡回随時対応型訪問介護看護	横須賀市浦賀	
太陽の家浦賀 無料低額宿泊所	横須賀市浦賀	定員13名
太陽の家浦賀ケアステーション（訪問介護）	横須賀市浦賀	
太陽の家マリオ(障がい者グループホーム)	横須賀市安浦町	定員10名
太陽の家公郷(認知症対応型共同生活介護)	横須賀市公郷	定員18名

(3)公益事業

太陽の家居宅介護支援センター	横須賀市浦賀	
浦賀地域包括支援センター	横須賀市浦賀	
太陽の家附属歯科診療所	横須賀市鴨居	
太陽の家和田の里歯科診療所	三浦市初声町	
歯科診療所優会	横浜市港北区錦が丘	
太陽の家公郷(住宅型有料老人ホーム)	横須賀市公郷	定員18名
太陽の家安浦(住宅型有料老人ホーム)	横須賀市安浦町	定員12名
ケアプランセンター 太陽の家座間	座間市座間	

3.職員の状況

・法人全体の職種別職員内訳

総職員数709名(内 常勤383名、非常勤326名)

平均年齢47.8歳(常勤42歳、非常勤54.5歳)

平均勤続年数5年2ヶ月(常勤5年5ヶ月、非常勤4年8ヶ月)

[職種別職員内訳]

職種	本部	太陽の家	二番館	座間	羽沢	清菊園	浦賀	小規模・有料	歯科	合計
本部長・施設長	6	0	1	1	1	1	1	0	0	11
エリア長	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2
次 長	2	1	1	1	1	1	1	0	0	8
介護支援専門員	0	3	2	2	4	2	10	3	0	26
社会福祉士	0	0	0	0	0	0	5	0	0	5
生活相談員	0	7	2	2	3	0	0	0	0	14
介護職員	0	73	64	59	63	52	12	51	0	374
介護補助職員	0	5	5	26	26	10	2	0	0	74
看護職員	0	9	7	7	11	6	5	1	0	46
保健師	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
機能訓練指導員	0	1	2	1	0	1	0	0	0	5
管理栄養士	0	2	3	2	2	1	0	0	0	10
厨房職員	0	12	3	0	0	0	0	0	0	15
歯科医師	0	0	0	0	0	0	0	0	10	10
歯科衛生士	0	1	1	1	1	0	0	0	9	13
歯科助手(受付)	0	0	0	0	0	0	0	0	6	6
事務職員	8	2	2	4	3	3	2	0	0	24
車両営繕	2	6	5	2	4	9	0	0	0	28
情報システム課	5	0	0	0	0	0	0	0	0	5
保育職員	0	7	0	4	1	0	0	0	0	12
宿 直	0	3	4	4	2	3	0	4	0	20
合 計	25	132	102	116	122	89	39	59	25	709

■職員構成(令和5年度3月31日現在)

職員人数は令和5年度700人を超えました。

常勤職員比率は54.0%となり、令和4年度と比較して1%上昇しました。

また平均勤続年数を常勤・非常勤別に見ると、常勤職員は前年と同じく5年5ヶ月であり、非常勤は前年の4年3ヶ月から5ヶ月伸びて4年8ヶ月でした。

■職員の採用及び退職

採用職員総数158名(常勤職員82名、非常勤職員76名)

退職職員総数113名(常勤職員52名、非常勤職員61名)

[事業所別採用退職職員内訳表]

新卒採用職員10名(内訳 高校卒業6名・大学卒2名・専門卒2名)

拠点 職種	本部		太陽の家		二番館		座間		羽沢		清菊園		浦賀		小規模・有料		歯科		採用 合計	退職 合計
	採用	退職	採用	退職	採用	退職	採用	退職	採用	退職	採用	退職	採用	退職	採用	退職				
施設長・管理者	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
介護支援専門員	0	0	0	0	1	2	0	0	0	1	0	0	1	2	0	2	0	0	2	7
社会福祉士	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0
生活相談員	0	0	0	0	0	0	2	2	1	1	0	0	0	1	0	0	0	0	3	4
介護職員	0	0	10	9	9	5	15	9	16	7	10	9	3	3	13	8	0	0	76	50
介護補助職員	0	0	0	1	0	1	5	5	7	1	7	2	1	2	0	1	0	0	20	13
看護職員	0	0	2	1	1	1	0	0	4	4	5	4	1	0	0	0	0	0	13	10
機能訓練指導員	0	0	0	0	1	0	0	0	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	3	2
管理栄養士	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
厨房	0	0	6	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	6
歯科医師	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	2	3	2
歯科衛生士	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	1	4	1	1
歯科助手(受付)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
事務職員	2	1	1	1	0	1	3	3	2	2	0	0	0	1	0	1	1	1	9	11
車両営繕	2	0	2	2	2	1	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8	3
情報システム課	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
保育職員	0	0	2	1	0	0	3	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	3
宿直	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1	0	0	0	0	0	0	2	1
合計	5	1	23	21	15	11	28	21	35	18	24	16	7	9	13	12	8	4	158	113

■研修・実習生受入

令和5年度は引き続き新型コロナウイルス感染症の予防に努めながら、対面研修とオンライン研修の同時開催(ハイブリッド型研修)の形も取り入れ、計画通りに進めることができました。また実習生の受け入れも徐々に再開しており、地域の様々な学校の学生を受け入れることで福祉の仕事を広く知っていただく活動ができました。

■新卒研修

研修日	研修内容
4/3~4/5	法人の理念・事業の理解・社会人としてのマナー等

■新規採用者研修

研修日	場所
4月21日	ウィリング横浜
7月17日	ウィリング横浜
10月20日	ウィリング横浜
1月26日	ウィリング横浜

■リーダー・主任育成(ユアアイゼミ)研修

研修日	研修内容
6月21日	伝える力・説明する力
8月23日	制度の理解
10月18日	強みと弱みと売りの理解
12月20日	問題解決能力(部下の現状と育成・事故クレーム対応)

■リーダー研修

研修日	研修内容
5月18日	役職者の責務①
6月9日	役職者の責務②
11月17日	管理の責務・目標達成
2月16日	連携

■事業責任者補佐(主任)研修

研修日	研修内容
8月16日	部下への指導方法

■事業責任者(課長)研修

研修日	研修内容
7月4日	福祉と経営のバランス

■外国籍職員の雇用状況(令和5年度3月31日現在、予定含)

拠点	太陽の家		二番館		浦賀		小規模・有科		座間		横濱羽沢		清菊園		合計
	受入者	在籍者	受入者	在籍者	受入者	在籍者	受入者	在籍者	受入者	在籍者	受入者	在籍者	受入者	在籍者	
介護	0	1	0	6	0	0	0	0	0	1	1	3	0	0	12
EPA介護福祉士	0	1	0	1	0	0	0	0	0	3	0	1	0	0	6
EPA候補者	2	5	1	4	0	0	0	0	0	2	0	1	0	0	15
特定技能	2	4	0	2	0	0	0	0	2	2	3	5	2	2	24
その他	0	3	0	0	0	0	0	1	0	2	0	1	0	0	7
合計	4	14	1	13	0	0	0	1	2	10	4	11	2	2	64

令和5年度は新たにEPA介護福祉士候補者3名、特定技能外国人9名を受け入れました。これまでインドネシア・フィリピン・ベトナムからの外国籍職員を受け入れてきましたが、令和5年度は初めてミャンマー国籍の特定技能外国人を7名受け入れました。令和6年度もこれまでの経験を活かしながら、外国籍職員の受け入れ・育成に取り組めます。

4.各拠点の取組状況

(1)法人本部

①事業計画・予算の管理（事業活動収支差額比率6%達成を目指した継続的サポート）

法人全体での事業活動収支差額比率6%達成を目指し、新規事業開始に向けた作業等や新たな加算取得に対してサポートしました。結果として事業活動収支差額比率は5.31%と目標は未達成であるものの、これまで以上に各事業拠点と本部の連携は密に行うことができました。

横須賀エリア、横浜・県央エリアごとに開催される会議にも、極力、本部職員が参加することで、問題意識の共有、課題解決に向けた法人全体での取り組みが実現できました。

②多角的視点を持ち、業務の合理化と利便性の追求

ペーパーレス化、業務のシステム化は、それ自体が目的ではなく、業務の合理化を進めるための手段であることを意識して検討・試行に取り組みました。

各拠点が行っている業務執行における日々の工夫について、他拠点でも実施できるものを積極的な情報展開を行いました。

職員に対する研修では、単に現場でのスキルアップのみを目標とするのではなく、どのようなことを行えば利用者の利便性の向上となり、ひいては法人全体としての効率化等に繋がるのかを意識できるものとなりました。

③効果的な採用活動と入職後の公平公正な評価制度の追求

新卒者の採用について、令和6年4月1日採用の目標人数を12人として取り組みましたが、結果は5人でありました。

福祉のみならず我が国のすべての職種で求人難となっている中、ユーアイ二十一と他法人の差別化の必要性を痛感し、「中小企業からニッポンを元気にプロジェクト」を活用したブランディング強化の取組みを始めたところです。

評価制度については、職員の帰属意識を高めるためには、単に評価制度のみの問題と捉えるのではなく、現在のユーアイ二十一の組織体系から再検討することが必要との問題意識に基づき、令和6年度からコンサルティング会社の協力を得て検討できるよう、その準備作業を行いました。

④2024年度医療・介護報酬改定に向けた対応

新たに創出される加算や算定要件に変更がなされる加算について、新制度施行後ただちに算定ができるように、事前の情報収集や関係機関との調整を行いました。

また、介護報酬改定に合わせ3年ごとに行われる級地区分の見直しについて、横須賀市の級地区分が上位のものとなるように、市内の全介護事業所と連携し国や市に働きかけを行い、5級地から4級地への引き上げが実現しました。

・役員会等開催状況

■理事会

第1回 令和5年5月13日	議案第1号 (仮称) 太陽の家左近山小高事業計画 事業計画の採択にあたり、設計会社の選定について
第2回 令和5年6月9日	議案第1号 令和4年度事業報告書案について
	議案第2号 令和4年度収支決算書案について
	議案第3号 役員候補者案について
	議案第4号 令和5年度補正予算案について
	議案第5号 定款変更案について
	議案第6号 就業規則の改訂について
	議案第7号 太陽の家マリオ移転および太陽の家安浦の転換について
	議案第8号 経理規程の改訂について
	議案第9号 評議員会の日時・議案等について
第3回 令和5年6月24日	議案第1号 代表理事の選任について
	議案第2号 常務理事の選任について
	議案第3号 評議員選任・解任委員の選任について
第4回 令和5年9月9日	議案第1号 令和5年度補正予算(案)について
	議案第2号 給与規定の改定について
	議案第3号 評議員会の日時・議案等について
第5回 令和5年11月7日	議案第1号 定款変更案について
	議案第2号 評議員会の議案・開催日時について
第6回 令和6年3月9日	議案第1号 令和6年度事業計画書(案)について
	議案第2号 令和6年度収支予算書(案)について
	議案第3号 太陽の家横濱羽沢施設長就任について
	議案第4号 定款変更案について
	議案第5号 給与規定の改定について
	議案第6号 登録ヘルパー規則の制定について
	議案第7号 就業規則の改訂について
	議案第8号 太陽の家安浦賃貸借契約の変更について
	議案第9号 福祉医療機構への借り入れ申し込みについて
	議案第10号 評議員会の日時・議案等について

■評議員会

第1回 令和5年6月24日	議案第1号 令和4年度事業報告書案について
	議案第2号 令和4年度収支決算書案について
	議案第3号 理事候補者・石渡庸介の選任について
	議案第4号 理事候補者・石渡縁の選任について
	議案第5号 理事候補者・佐藤晃一の選任について
	議案第6号 理事候補者・北村明美の選任について
	議案第7号 理事候補者・岩澤章夫の選任について
	議案第8号 理事候補者・梅田顕の選任について
	議案第9号 理事候補者・小林竜雅の選任について
	議案第10号 理事候補者・川澄弘喜の選任について
	議案第11号 理事候補者・石渡真也の選任について
	議案第12号 理事候補者・中村豪の選任について
	議案第13号 監事候補者・川瀬俊夫の選任について
	議案第14号 監事候補者・清水耕一の選任について
	議案第15号 令和5年度補正予算案について
	議案第16号 定款変更案について
	議案第17号 太陽の家マリオ移転および太陽の家安浦の転換について
第2回 令和5年9月23日	議案第1号 令和5年度補正予算（案）について
第3回 令和5年12月1日	議案第1号 定款変更案について
第4回 令和6年3月16日	議案第1号 令和6年度事業計画書（案）について
	議案第2号 令和6年度収支予算書（案）について
	議案第3号 定款変更について

■会計監査人監査実施状況

令和5年5月19・22・23日	令和4年度期末監査
令和5年6月9日	監事監査報告
令和6年1月15日	会計監査人監査
令和6年2月9日	会計監査人監査・拠点監査（相模原清菊園）
令和6年3月19日	会計監査人監査・期末監査打合せ

(2)特養事業

1.太陽の家

①安定した事業運営のための取り組み

年間稼働率は95.1%となり昨年度より1.9%上昇しましたが、目標達成とはなりません。年間の退去者数が61名と前年度とほぼ同水準となり、待機者の確保及び入居までに時間がかかってしまったことが原因として挙げられます。その為、入居申し込みから入居までの流れについて、前期で見直しを行い、後期で実施し改善傾向が見られています。新型コロナウイルス感染症は4回施設内で発生しましたが、ゾーニング等の感染対策を講じ、10日間程度で収める事が出来ました。週1回各事業課長間で情報交換を継続して実施し、空床の短期事業の利用及び、短期事業・通所事業の利用者の状況変化による特養への入所につなげることが出来ました。加算の算定については、褥瘡マネジメント加算、口腔衛生管理加算Ⅱを7月より算定開始することが出来ました。支出の削減については、会議時にタブレットやスクリーンを使用することでペーパーレス化に向けた取り組みを進める他、電気使用量の共有、節電への情報発信などを実施しました。

②サービスの質向上を図り、満足度を高める。

満足度調査を9月～10月に実施しました。満足度については96%の方より施設を利用して良かったとの回答があり、ユニット単位やフロアで開催するレクリエーションが活発となったことが目標達成につながったと思われます。10月以降はご家族が参加出来る行事を多く企画しました。ご家族からは、身支度や居室清掃についての意見を頂いており、介護支援の基本に立ち返り安心・温もり・満足につながるよう取り組んでいます。食事については、11月～12月にかけて、業者選定会を実施し、味や見た目、コスト、運用について評価した結果、令和6年4月より一部業者を変更することとしました。

③ 個々の職員の人材育成、働き方改革の推進

各職員が年3回上司と面談を実施しましたが、職員の成長をお互い実感することができませんでした。面接方法の工夫や面接者の技術向上によって、職員の想いを引き出し実践することで、モチベーションを保ち、やりがいを持てるようにしてまいります。研修受講については、認知症実践リーダー研修1名、認知症基礎研修10名が資格取得へつながりましたが、喀痰吸引等研修については、指導看護師の体制により、予定通りに進みませんでした。また、残業時間減少を目的として音声入力アプリケーションの試用を実施しましたが、思うような効果が得られませんでした。2月より残業が多い職種については変形労働を取り入れ、評価を実施しています。

④地域への関り

地域活動については、KUROFUNO清掃隊との合同での清掃活動、認知症の支援活動ぬくもりカフェ、横須賀商工会議所主催のマイタウンティーチャーへの参加を通じて地域へ出て活動することが出来ました。また、地域包括支援センターと浦賀地区ボランティアセンター主催の介護技術講習へ講師として参加することが出来ました。第三者委員会は年4回、計画通りに実施することができました。今後は地域のニーズを把握し、ともに課題解決できるような活動を行っていきたいと考えております。

[年齢別・介護度別利用状況一覧]

	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	合計	構成比(年齢)
64歳以下	0	0	0	1	1	2	2%
65歳～69歳	0	0	1	1	2	4	4%
70歳～74歳	0	0	0	0	1	1	1%
75歳～79歳	0	0	4	5	1	10	9%
80歳～84歳	0	0	5	9	2	16	15%
85歳～89歳	2	0	10	15	5	32	29%
90歳以上	0	1	14	17	12	44	40%
計	2	1	34	48	24	109	100%
構成比(介護度)	2%	1%	31%	44%	22%	100%	

[健康管理業務]

健康診断の実施		
実施日	利用者数	
7月21日	108	名

予防接種の実施			
実施日	利用者数	利用者数	
コロナ	7/11、7/25	77	名
コロナ	8/1	1	名
インフルエンザ	11/8	95	名
コロナ	11/28	47	名
コロナ	12/12	46	名

[療養食の状況]

療養食加算 月平均 8.5 件

[行事実施報告]

	行事・外出活動他
4月	20周年記念 フロア開催 (18,23,25日)
5月	13日 川間町内会祭礼 14日 母の日喫茶 23日 居酒屋
6月	19日 父の日レク 24日 フルーツバイキング
7月	7日 七夕 25日 居酒屋
8月	7日 売店 19日 夕涼みの会
9月	18日 敬老会 26日 居酒屋
10月	15日 秋祭り
11月	26日 施設内喫茶 28日 居酒屋
12月	クリスマス会 (各フロア開催) 28日 もちつき
1月	
2月	3日 豆まき 13、20日 ラーメンレク
3月	5、12日 ラーメンレク

[ボランティア受入状況]

ボラ団体・内容	数	活動実績
傾聴ボラ	2	

[職種別職員内訳]

・総職員数132名(内 常勤職員72名、非常勤職員60名)

職種	特養		短期		通所	
	常勤	非常勤	常勤	非常勤	常勤	非常勤
施設長	1(兼務1)					
次長	1					
介護支援専門員	3(兼務3)	0	0	0	0	0
生活相談員	3(兼務2)	2	1	0	3(兼務2)	0
看護職員	2(兼務1)	5(兼務1)	1(兼務1)	0	0	2(兼務1)
機能訓練指導員	2(兼務1)	0	1(兼務1)	0	0	2(兼務2)
歯科衛生士	0	1	0	0	0	0
介護職員	42(兼務1)	15	5	4	5(兼務2)	3
介護補助職員	0	3	0	1	0	1
管理栄養士	2(兼務1)	0	1(兼務1)	0	0	0
厨房職員	1	11	0	0	0	0
事務職員	0	2	0	0	0	0
車両営繕	0	6	0	0	0	0
宿直	0	3	0	0	0	0
保育職員	5	2	0	0	0	0
計	58	50	7	5	6	5

※兼務職員を含むため実人数とは異なります

2.太陽の家二番館

①安定した稼働の維持（目標稼働：特養98.8%）

特養稼働は97.6%と目標稼働には至りませんでした。要因としては7月8月9月の相次ぐ退去者及び入院者の増加が挙げられます。その間でも横須賀、横浜エリアへの継続的な営業活動は行えており、10月以降リカバリーは出来たものの、結果として夏季の3カ月間の低迷が年度の後半まで影響する形となりました。上位待機者の安定した確保が重要であることが再認識出来ましたので、引き続き営業活動を強化し実施していきます。3月にコロナクラスターが発生し、入院者が出ましたが、短期事業との連携も出来、空床利用にて埋めることが出来ました。特養、短期合わせての稼働率は97.9%であり、目標97.4%を達成することが出来たのは、2事業の連携を密に行っていた結果と言えます。また、個別機能訓練加算Ⅱ、口腔衛生管理加算をそれぞれ算定開始しました。

② ご利用者、ご家族の満足度を上げる

今年度はコロナ五類移行となり、面会制限も解除し家族の出入りが多くなりました。年間4回実施を目標としていたご家族向けの茶話会も実施することができました。ご家族からの直接の声を聞くことでニーズの把握等を行うことができ、結果として苦情は年間を通して1件でした。年間計画に沿ったレクリエーションを実施し、10月に約4年ぶりにご家族を招いて開催した秋祭りは大成功であり、多くのご家族から喜びの言葉をいただくことが出来ました。また、サービスの質の向上を図るうえで年間4回の第三者委員会を開催し、委員による施設ラウンドでは整理整頓が行えている事、苦情が少ないことに対して賞賛の言葉をいただくことが出来ました。

③ チームビルディング

研修を通して職員の専門性の向上を図るため年間4回の全体研修を実施しました。その際は、オンラインと対面のハイブリッド形式で実施するなど工夫をしました。令和6年2月より本格導入した見守りセンサーに関しては、現在、事故予防対策に活用しています。今後は時間外勤務の減少や有休消化率の向上、夜勤体制の見直しを行い職員の負担軽減につなげていく予定です。ストレスチェックにおいて職員の身体的ストレスが顕著であり、一人の職員にかかる負担量が多いことが判明した為、今後は個別での面談を行い、職員の精神的、身体的負担の軽減を図っていきます。課題解決に向けて動き出す一年となりました。

④ 地域の安心を支える存在になる

地域の方との交流を持つ活動として、6月、10月に地域に向けた介護についての講座を太陽の家、在宅サービスと連携して開催しました。また、毎月KUROFUNO清掃隊との地域清掃活動にも積極的な参加が出来ました。10月に開催した秋祭りには長瀬町内会の方が来訪され、地域の方との密な関係性を構築できるきっかけとなりました。ボランティアや実習生の受け入れも令和5年度より再開し、横須賀南高校、横須賀総合高校、県立保健福祉大学等から実習生を多く受け入れることが出来ました。広報活動においてはSNS（Instagram、YouTube）を使用し、多方面へ情報発信を行い、施設見学会の開催など地域に開けた活動を実施することが出来ました。

[年齢別・介護度別利用状況一覧]

	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	合計	構成比(年齢)
64歳以下	0	0	0	1	0	1	1%
65歳～69歳	0	0	0	0	0	0	0%
70歳～74歳	0	1	1	0	0	2	2%
75歳～79歳	0	0	0	3	4	7	8%
80歳～84歳	0	0	5	10	3	18	21%
85歳～89歳	0	0	6	6	9	21	25%
90歳以上	0	1	16	13	5	35	42%
計	0	2	28	33	21	84	100%
構成比	0%	2%	33%	39%	25%	100%	

[健康管理業務]

健康診断の実施		
実施日	利用者数	
7月25日	97	名

予防接種の実施			
種類	実施日	利用者数	
コロナ	7/4、7/18	76	名
コロナ	8/1、8/29	7	名
コロナ	11/21	44	名
コロナ	12/5	38	名
インフルエンザ	10/11、10/12、10/17、10/18、10/25	95	名
コロナ	12/6	1	名

[療養食の状況]

療養食加算 月平均 5 件

[行事実施報告]

	行事・外出活動他
4月	
5月	喫茶
6月	父の日レクリエーション
7月	
8月	
9月	敬老会
10月	秋祭り
11月	喫茶
12月	クリスマス会
1月	元旦
2月	節分
3月	ひな祭り

[ボランティア受入状況]

ボラ団体・内容	数	活動実績
車椅子ダンス	1	

[職種別職員内訳]

・総職員数102名(内 常勤職員55名、非常勤職員47名)

職種	特養		短期	
	常勤	非常勤	常勤	非常勤
施設長	1			
次長	1			
介護支援専門員	2(兼務2)	0	0	0
生活相談員	2(兼務2)	0	2	0
看護職員	2	4(兼務1)	1	0
機能訓練指導員	2	0	0	1(兼務1)
歯科衛生士	0	1	0	0
介護職員	35	20	5	4
介護補助職員	0	5	0	0
管理栄養士	2	0	1	0
厨房職員	1	2	0	0
事務職員	0	2	0	0
車両営繕	0	5	0	0
宿直	0	4	0	0
計	46	43	9	4

※兼務職員を含むため実人数とは異なります

3.太陽の家座間

①稼働の安定・加算の取得と維持

平均介護度特養4.0・短期3.5を維持できるも、特養短期平均稼働率目標値98%は未達に終わりました。年度当初は入退所の動きは緩やかでしたが、下半期コロナ感染からの二次的な病状によりADL低下にて退所・看取りでのご逝去もあり退所が多くなり、結果入所件数41件・退所件数41件となりました。今年度はベッドを空いたままにしないという空床利用の意識が現場職員も強くなり、空床利用・緊急ショートを受け入れは多職種の迅速な協力・調整によりかなり多く対応できました。しかし今年度の目標であった「待機者10名確保」は一度も達成できず入所ご案内までに時間を要してしまいました。

協力医療機関との連携は的確に行えましたが、医療機関職員配置変動があったため更なる信頼関係の構築が必要となり時間を割く結果となりました。下半期より相模原清菊園と定期的なミーティングの開催・営業活動を実施し、情報共有に限らずエリアとしてチーム連携構築に努めました。

加算の取得に関しては、予定より早く4月当初から科学的介護推進体制加算・自立支援推進加算・褥瘡支援加算の取得算定はできましたが、特養看護体制加算Ⅱ・短期看護体制加算Ⅰは職員定着・出勤日数の定着とならず取得できませんでした。

また報連相強化するためにリーダー育成等に努めましたが、一般職員への落とし込みまでは行き届かず満足な状態には至りませんでした。ユニット会議・多職種会議の中身の充実によりしっかりと共有・伝達・育成に努めていくことが今後の課題となっています。

② 24シートの充実・レク活動の強化・健康管理の強化

24シートの作成は行っているも有効活用ができるまでのレベルには達することはできませんでした。定期カンファレンス・担当者会議の開催はできており、ご家族も参加できるよう努めました。

レク活動では、横浜・県央エリア各施設秋祭りに他2施設もブース設置にて参加し、コロナ禍明けご家族参加型秋祭り開催実現で、ご家族にも施設の様子を知っていただける機会が作れました。

「ご家族への手紙」の定期的な作成・発信に加え、SNS発信については新卒職員が担当するなど、昨年度に比べ日々の様子のタイムリーな発信ができました。

健康管理の強化については、前年度に比べ入院数が増加してしまいましたが、内科・精神科への上申書作成前までに現場職員が日々の様子・不安要素などを記載した意見書を基に、看護師が上申書を作成し嘱託医へ報告・相談する体制へ変更実施しました。また下半期より採血等の実施を強化し、早期治療の開始や協力医療期間へ受診できる環境を構築しました。日々医療処置が必要なご入居者の受け入れも多くなってきていますが「できない」ではなく「どうしたら対応していけるか」の意識のもと受け入れができるよう指導を行い、今後も継続していきます。

③ 感染対策の強化・5S活動の推進・委員会の強化

今年度は新卒職員5名配属となり、新卒職員へ技術研修中心に対応ができました。毎月振り返りを行うことで技術強化と育成状況の把握の共有に努めました。感染症対策の強化について「持ち込まない・移さない・拡げない」ことを職員に強く意識付けしていましたが、クラスターが起きてしまった現実があり、都度振り返り・感染症対策のやり方の見直しをしながら対策対応を行いました。

同様に5S活動は全体としては反省点が残る結果となりました。おむつ定数管理やコストに関する意識付けは強化されかなりのコスト削減が成功しました。施設全体の業務改善の見直し・マニュアル作成・周知は実施でき、各専門職務改善等の見直し・再考は次年度必要となります。また委員会活動は人員的な問題や職員の意識がまだ弱く開催頻度にむらが出てしまい、委員会の実施率は高くても内容が希薄なものもありました。次年度は役職者がオブザーバーとして介入を行い内容の強化に努めます。

④ 地域住民が在宅生活を維持できるような支援の実施

上半期はコロナ状況に伴い活動が希薄でしたが、市役所主催の研修に参加する他、認知症サポーター養成講座手伝いとして参加しました。下半期は自治会主催の美化清掃や市役所主催「相模川クリーン推進運動」へ参加する以外に、駐車場や地域交流スペースにおけるイベント開催のための場所貸しの協力にて今まで「太陽の家座間」を知らない方が訪れる機会が増えました。

また居宅誘致の移動パン販売とは別の移動パン屋を導入し、月2回販売日を設けて、地域住民が気軽に足を運べる機会を作ることができました。

[年齢別・介護度別利用状況一覧]

	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	合計	構成比(年齢)
64歳以下	0	0	0	0	0	0	0%
65歳~69歳	0	0	1	0	0	1	1%
70歳~74歳	0	0	1	2	2	5	5%
75歳~79歳	0	0	1	3	2	6	6%
80歳~84歳	0	0	4	11	3	18	18%
85歳~89歳	0	0	6	9	12	27	28%
90歳以上	0	0	9	23	9	41	42%
計	0	0	22	48	28	98	100%
構成比	0%	0%	22%	49%	29%	100%	

[健康管理業務]

健康診断の実施		
実施日	利用者数	
9月8日	79	名

予防接種の実施			
種類	実施日	利用者数	
コロナ	6/6、6/13、6/20、6/27	89	名
コロナ	12/5、12/12、12/19、12/26	83	名
インフルエンザ	11/7、11/14、11/21、11/28	87	名

[療養食の状況]

療養食加算 月平均 太陽の家座間 0 件

[行事実施報告]

	行事・外出活動他
4月	お花見
5月	菖蒲湯・パン移動販売
6月	誕生日会・ユニットレク・パン移動販売
7月	ミニ納涼祭・美化清掃・パン移動販売
8月	誕生日会・ユニットレク・パン移動販売
9月	敬老会・パン移動販売
10月	秋祭り・芋ほり・移動販売・ハロウィン交流会「トランク・オア・トリートin座間」
11月	焼き芋レク・誕生日会・パン移動販売
12月	クリスマス会・ゆず湯・パン移動販売
1月	正月レク・パン移動販売
2月	豆まき・パン移動販売
3月	桜祭り・ユニットレクレク・パン移動販売

[ボランティア受入状況]

ボラ団体・内容	数	活動実績
座間市社会福祉協議会呼びかけ	2	地域住民向け活動「eスポーツを楽しもう」
ハーモニカボランティア	10	ハーモニカ演奏
傾聴ボランティア	8	傾聴
チョコボラ	153	施設犬散歩
ご近所様	204	施設犬散歩（4回/週）
入居者ご家族様	157	施設犬散歩（3回/週）
Aloha nui loa	1	フラダンス
入居者お孫様	1	ハーブ演奏
FunFun local Japan	1	ハロウィン活動「トランク・オア・トリートin座間」
ウクレレ同好会	10	ウクレレ演奏

[職種別職員内訳]

・総職員数116名(内 常勤職員64名、非常勤職員52名)

職種	特養		短期		居宅	
	常勤	非常勤	常勤	非常勤	常勤	非常勤
施設長	1					
次長	1(兼務1)					
介護支援専門員	1(兼務1)	0	0	0	2	0
生活相談員	2	0	0	1	0	0
看護職員	4	3	0	0	0	0
機能訓練指導員	1	0	0	0	0	0
歯科衛生士	1	0	0	0	0	0
介護職員	40	9	9	1	0	0
介護補助職員	0	23	0	3	0	0
管理栄養士	1	1	0	0	0	0
厨房職員	0	0	0	0	0	0
事務職員	1	3	0	0	0	0
車両営繕	0	2	0	0	0	0
宿直	0	4	0	0	0	0
保育職員	2	2	0	0	0	0
計	55	47	9	5	2	0

※兼務職員を含むため実人数とは異なります

4.太陽の家横濱羽沢

①安定した経営と選ばれる施設を目指します

年間を通した目標稼働98.5%は達成することができませんでした(上半期96.3%、下半期98.5%)。上半期は部屋に空きが出た後の次の案内が遅れることによって特養の稼働に課題が残りました。下半期以降は、対策が功を奏して稼働の回復ができましたが、年間平均では目標を下回る結果となりました。経費削減策については、まだ改善の余地があると考えていますが、横浜市の指導監査では他の施設よりペーパーレスが進んでいることを評価されました。今年度は新加算の算定はありませんでしたが、看護師の配置を厚くするなど、医療的ケアが必要な方々の受入れを促進し、横浜市医療対応促進助成金の算定対象となり継続できています。

② ご入居（利用）者やご家族の思いを実現する為、根拠ある個別ケアを実践します

イベント開催は、施設全体イベントは毎月開催し、その他ユニット単位でのイベントも活性化した1年でした。年間でも最大のイベントである秋祭りでは、大雨にもかかわらず、300名ほどの来場がありました。感染症対策では、医師との連携の上、予防強化が実現でき、面会を緩和しました。そのことでご家族が施設に足を運ぶことが可能になり、当たり前の暮らしが戻りつつあります。ICTの導入面において見守りセンサーの活用では事例発表や他施設のモデルとなる機会が増え同業種への認知も広げられました。特に終末期には、DATAに基づいた介護職の判断によって、ほぼ全看取り対象者の方々の、最期の時間をご家族が共に立ち合える環境が構築できました。根拠あるケアを実現する事が、ご家族にとっても安心ある生活につながると考えており、より一層その取り組みを強化する1年となりました。

③ 職員のやりがいの為に評価制度を明確にし、キャリアアップと長く働ける職場環境を

面談シートについて横浜エリアで統一した書式及び管理共有方法を導入した1年となりました。このことで、職員との面談内容がスピーディーに且つ連続性をもって、管理職で共有されることにつながっており、早期対応や管理職チームでの対応が図れてきています。離職ゼロの目標にはまだ課題もありますが、退職意向があつてから、退職までの期間も伸びてきており、意向が出てから退職するまでの期間が短いことによる現場の混乱回避に資することができてきていると考えています。また面談の際、本人のモチベーション向上に対して、直属上司1名だけでなく、管理職チームで対応することも効果が出てきています。

④ 地域との連携体制を強化します

地域の移動支援活動では、施設車を利用した活動が行われました。また、自治会や地域の野球チーム、音楽の練習場など、積極的な施設設備の貸し出しを行った結果、地域との相互のやり取りが活発化しました。このことから、子供から高齢者まで、幅広く地域へ当施設の認知度を高めることにもつながっており、申込者の増加などにもつながってきています。

[年齢別・介護度別利用状況一覧]

	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	合計	構成比(年齢)
64歳以下	0	0	0	0	1	1	1%
65歳～69歳	0	0	0	1	0	1	1%
70歳～74歳	0	0	2	1	3	6	5%
75歳～79歳	0	0	1	4	6	11	10%
80歳～84歳	0	0	3	8	4	15	14%
85歳～89歳	0	0	3	13	11	27	25%
90歳以上	0	0	10	21	18	49	45%
計	0	0	19	48	43	110	100%
構成比(介護度)	0%	0%	17%	44%	39%	100%	

[健康管理業務]

健康診断の実施		
実施日	利用者数	
7月18日	103	名

予防接種の実施			
種類	実施日	利用者数	
コロナ	5/8、5/12、5/19、5/26	91	名
コロナ	7/7	4	名
インフルエンザ	11/6、11/10、11/17、11/24	90	名
コロナ	12/1、12/8、12/15	80	名

[療養食の状況]

療養食加算 月平均 4 件

[行事实施報告]

	行事・外出活動他
4月	施設売店・海鮮販売
5月	21日開設5周年式典・売店・海鮮販売
6月	売店・海鮮販売・中丸小学校七夕防災祭り
7月	フラワーアレンジメント・施設売店・海戦販売・施設流しソーメン
8月	フラワーアレンジメント・施設売店・海戦販売・施設流小松亭（和食）
9月	施設レクBBQ・フラワーアレンジメント・売店・海鮮販売
10月	施設イベ秋祭り・保育室交流ハロウィン・フラワーアレンジメント・売店・海鮮販売
11月	施設レクラーメン羽沢亭・売店・海鮮販売・フラワーアレンジメント
12月	保育室交流クリスマス会・餅つき・フラワーアレンジメント・売店・海鮮販売
1月	お屠蘇・いちご狩り、フラワーアレンジメント・
2月	節分豆まき・フラワーアレンジメント・売店・海鮮販売
3月	施設レク羽沢グリル（洋食）フラワーアレンジメント・売店・海鮮販売

[ボランティア受入状況]

ボラ団体・内容	数	活動実績
湘南医療福祉専門学校	5	秋祭り参加
大原医療秘書福祉保育専門学校横浜校	12	秋祭り参加
福寿草薬局	5	秋祭り参加
秋祭りボランティア有志者	4	秋祭り参加
傾聴ボランティア	3	入居者との会話
就労支援	1	入居者の生活支援
田園調布学園大学	3	5周年記念イベント参加
二俣川看護福祉高等学校	3	5周年記念イベント参加

[職種別職員内訳]

・総職員数122名(内 常勤職員63名、非常勤職員59名)

職種	特養		短期		通所	
	常勤	非常勤	常勤	非常勤	常勤	非常勤
施設長	1					
次長	1					
介護支援専門員	4	0			0	0
生活相談員	2	0			1	0
看護職員	3	5			1	2
機能訓練指導員	0	0			0	0
歯科衛生士	1	0			0	0
介護職員	42	17			2	2
介護補助職員	0	24			0	2
管理栄養士	2	0			0	0
厨房職員	0	0			0	0
事務職員	2	1			0	0
車両営繕	0	2			0	2
宿直	0	0			0	2
保育職員	1	0			0	0
計	59	49			4	10

※短期職員に関しては特養職員が兼務しています また兼務職員を含むため実人数とは異なります

5.太陽の家相模原清菊園

①経常利益確保

特養と空床型ショートステイ合わせて年間稼働率94.5%と目標を大幅に下回る結果となりました。退居者が例年と比べ3倍の50名となったこと、営業不十分で入居調整に時間を取られスムーズな受け入れができなかったこと、また待機者確保ができなかったことが要因です。期中より待機者を確保する為、太陽の家座間と連携して営業回りや入居情報の共有を行いました。その結果、短期入所者の年間延べ人数が59名となり、年間稼働のうち2.7%を占めるようになりました。また、5名のご利用者が短期入所から特養入所に切り替わるという成果にも繋がりました。経口維持加算取得者は60名から87名(年間加算取得人数)に増えてきましたが、口腔衛生管理加算は書類作成に時間を要するため取得には至りませんでした。看護師が派遣職員のみで運営した時期もあり収入に対して人件費率が約70%を占めましたが、事業費事務費等の経費は約20%に抑えることができました。稼働率を安定させ収入を確保することの重要性をより強く意識する年となりました。

②ケアの追求と満足度を図る

コロナ禍で入居者家族からオンライン面会の要望が多かった為Wi-Fi環境整備を計画していましたが、稼働率低迷により当年度の実施は見送りました。コロナ感染状況が幾分落ち着いてきましたので、今後は介護業務のICT化による業務効率化や、入居者向けのサービス向上、またネット環境を期待する入居者確保等を念頭に置いて補助金などを活用し次年度整備を目指します。

③働く満足度を上げ、離職率を低下させる

看護師不足に伴い多職種によるサポートを多く必要とする年となりました。人員体制を再構築し専門業務に専念できる環境整備が急務であると考えています。ケアマネ・生活相談員の情報共有を目的とした太陽の家座間との定期会議をはじめ、県央エリア間におけるユニットリーダーの交流研修を実施しました。またオンラインではありますが、パフォーマー研修に参加しエリア間で交流を図ることができました。しかしながら、離職者数は常勤・非常勤合わせて14名(うち看護師4名)であり、15%という高い離職率となりました。家庭の事情や体調面等で就業困難な職員もいたので一概に働きづらい環境であったとは言えないものの、対策として、協力ユニットでのシフト作成や、一部ユニットへの変形労働制導入による業務の標準化に向けた取り組みを実施しました。次年度はICT導入による働きやすい環境の実現と、施設に対する愛着心、思入れの向上を目指します。

④地域交流の基盤作りを行う

地元のキッチンベーカリー店や大手コンビニエンスストアの訪問販売を毎月実施し、定着化させました。また子ども食堂(なかよし食堂)とのコラボイベントを開催するなど、地域交流、入居者の社会参加を実現することができました。さらに施設内にさがみはらSDGs推進自動販売機を設置しました。売上の一部が相模原市のSDGs推進事業に寄附されることから、来訪者、ご入居者とそのご家族、職員に向けて飲んで貢献しているという意識づけが出来ました。今後は他のパートナー事業者と連携し、地域交流の一環でSDGsの周知と相模原清菊園の知名度アップに向けた活動を進めてまいります。

[年齢別・介護度別利用状況一覧]

	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	合計	構成比(年齢)
64歳以下	0	0	0	1	1	2	3%
65歳～69歳	0	0	0	1	0	1	1%
70歳～74歳	0	0	0	2	0	2	3%
75歳～79歳	0	0	0	4	3	7	9%
80歳～84歳	0	0	7	5	6	18	23%
85歳～89歳	0	0	3	10	2	15	19%
90歳以上	0	0	8	19	8	35	44%
計	0	0	18	42	20	80	100%
構成比(介護度)	0%	0%	23%	53%	25%	100%	

[健康管理業務]

健康診断の実施		
実施日	利用者数	
8/23	69	名

予防接種の実施			
種類	日付	利用者数	
コロナ	8/17	36	名
コロナ	9/5	20	名
インフルエンザ	11/6、11/13、11/20	75	名
コロナ	3/12、3/27	59	名

[療養食の状況]

療養食加算 月平均 1,563 件

[行事実施報告]

	行事・外出活動他
4月	東林間商店街のベーカリーキッチンによる移動販売(毎月第2、4火曜)とセブンイレブン移動販売(毎月第3木曜)の開始
5月	調理品提供会社とコラボしたカレー祭 ガーデニング～アサガオの種まき～
6月	東林間商店街振興組合に加盟しているベーカリーキッチンとタイアップした”なかよし食堂”
7月	ユニット対抗スイカ割大会
8月	かき氷パーティー
9月	敬老会 RUN伴+さがみはら参加
10月	秋祭り～秋だ夷りだ太陽祭…横濱羽沢、座間協賛 横濱羽沢と座間の秋祭りに出店 なかよし食堂
11月	四季の行事開催メンバー：ポットマムによる炭火による安納芋焼き芋と珈琲の提供
12月	クリスマス(ユニット別)
1月	獅子舞い 太陽の家系ラーメンフェスティバル・金魚すくい・けん玉
2月	節分(ユニット別) ユニットレク…歌って踊ってフラ祭り
3月	寿司イベント 回想法としてのラジオ体操(健康サポート研究会)

[ボランティア受入状況]

ボラ団体・内容	数	活動実績
東林わかな会	2	6月なかよし食堂
東林わかな会	2	10月なかよし食堂
健康サポート研究会	3	回想法としてのラジオ体操

[職種別職員内訳]

・総職員数89名(内 常勤職員46名、非常勤職員43名)

職種	特養		短期	
	常勤	非常勤	常勤	非常勤
施設長	1			
次長	1			
介護支援専門員	2(兼務1)	0	0	0
生活相談員	1(兼務1)	0	0	0
看護職員	1	5	0	0
機能訓練指導員	1	0	0	0
歯科衛生士	0	0	0	0
介護職員	37	15	0	0
介護補助職員	0	10	0	0
管理栄養士	1	0	0	0
厨房職員	0	0	0	0
事務職員	2	1	0	0
車両営繕	0	9	0	0
宿直	0	3	0	0
保育職員	0	0	0	0
計	46	43	0	0

※兼務職員を含むため実人数とは異なります

5事業比較データ

(1)特養事業

①平均介護度（令和5年度末時点）

太陽の家	二番館	座間	羽沢	清菊園
3.8	4	4.1	4.3	4.1

②平均稼働率（令和5年度末時点）

太陽の家	二番館	座間	羽沢	清菊園
95.1	97.6	96.2	97.5	91.6

③利用者平均年齢

太陽の家		二番館		座間		羽沢		清菊園	
男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性
83.7	87.9	87.3	88.3	86.6	88.2	83.7	88.3	86.2	88.4

③利用者最高年齢

太陽の家		二番館		座間		羽沢		清菊園	
男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性
99	101	97	104	101	102	101	102	99	105

④月別入所人数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
太陽の家	11	6	3	6	6	3	4	8	8	6	4	5	70
二番館	2	4	3	4	2	8	2	3	1	2	1	2	34
座間	2	2	0	7	5	6	2	3	4	2	4	4	41
羽沢	5	6	2	4	4	2	3	3	6	2	4	2	43
清菊園	2	1	4	4	2	3	8	7	6	3	2	9	51

⑤月別退所人数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
太陽の家	8	4	1	4	6	3	8	7	8	4	4	4	61
二番館	1	6	4	6	3	5	2	3	1	1	2	5	39
座間	2	5	6	2	5	2	1	4	5	1	4	4	41
羽沢	4	3	4	4	3	1	4	4	3	3	4	0	37
清菊園	1	6	3	4	4	4	6	4	5	4	8	1	50

⑥入所経路

	太陽の家	二番館	座間	羽沢	清菊園
居 宅	29	14	24	30	15
介護老人保健施設	8	0	0	0	4
介護保険施設	0	2	0	5	0
認知症グループホーム	3	0	2	3	6
医療機関等	21	8	15	0	21
特定施設	9	10	0	5	5
計	70	34	41	43	51

⑦退所先

	太陽の家	二番館	座間	羽沢	清菊園
死 亡	50	33	19	19	32
介護老人保健施設	1	1	0	0	0
居 宅	1	0	0	0	0
医療機関等	5	4	12	13	0
老人福祉施設	3	0	0	0	1
療養型医療	1	1	10	5	17
計	61	39	41	37	50

⑧往診受診人数（延べ）

	太陽の家	二番館	座間	羽沢	清菊園
内 科	2262	1260	1734	1295	880
精神科	307	210	144	335	0
皮膚科	276	272	150	649	0
歯 科	1779	2021	261	1607	3216

⑨事故件数

	太陽の家	二番館	座間	羽沢	清菊園
転倒・転落	45	98	207	126	79
異食・盗食・誤飲	3	0	4	6	6
皮下出血	40	160	192	126	72
表皮剥離	18	6	158	23	21
作業ミス	1	3	4	0	2
暴力行為	0	2	0	6	0
誤薬・服薬漏れ・落下薬	4	18	93	47	27
骨折（原因不明含む）	1	3	6	1	2
その他	12	64	46	87	9
計	124	354	710	422	218

⑩苦情受付数

	太陽の家	二番館	座間	羽沢	清菊園
職員の接遇	2	1	2	0	1
サービスの質・量	1	0	1	2	0
利用料	0	0	1	0	0
説明・対応	0	0	1	2	1
被害・損害	0	0	0	0	0
人員配置	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	1	0
計	3	1	5	5	2

(3)短期入所事業

1.太陽の家

①安定した事業運営のための取り組み

年間稼働率は90.8%となり、目標達成は出来ませんでした。その他の目標は概ね達成することが出来ました。営業活動については毎月事業所回りやFAX送信等を行いました。また他事業と常に情報共有し、利用者の状況変化時には、通所・短期・特養が協力することで継続した支援が出来ました。新型コロナウイルス感染症も発生しましたが、初動対応が迅速に取れるようになり、ゾーニングなどを工夫し拡大することなく、影響を最小限にとどめることが出来ました。

②サービスの質向上を図り、満足度を高める

満足度調査を9月～10月に実施しました。サービス全般の満足度については79%の方が満足しているとの回答となり目標達成とはなりません。レクリエーションの項目では、不満との回答が4件ありました。レクリエーションにつきましては職員の体制及び感染症対策により満足度のいく取り組みが出来なかった為、次年度以降も課題として取り組んでまいります。食事に関しては、ご飯のお供を用意しご利用者に選んでいただくことで、食事摂取量が増え満足の声が頂くことができました。利用時の持ち物に関しては、荷物チェックアプリを導入し、忘れ物防止や荷物チェックにかかる時間の短縮に繋げることが出来ました。しかし、効率化が思うように進まなかったため、次年度ではアプリ使用方法を再検討する予定です。さらに荷物チェック表の記入が減りご家族にとっても職員にとっても負担が減ることで、より充実したご利用者へのサービスに繋がると考えています。

③ 個々の職員の人材育成、働き方改革の推進

感染症の発生により人員不足が生じ、面談が思うように行えない時がありましたが、現在では改善出来ています。職員個々のスキルアップに関しては上司からの指示によって取り組むものが多かったため、次年度は職員自身が学びたい事柄について、面談等を通して聞き取りを行う予定です。残業については、職員の人員不足や常時見守りが必要なご利用者が増えていることもあり減少にはつながりませんでした。今後も業務改善によって残業削減に向けた取り組みを継続していきます。

④ 地域への関り

地域活動については、特養事業・通所事業と共にKUROFUNE清掃隊との合同での清掃活動、認知症の支援活動ぬくもりカフェ、横須賀商工会議所主催のマイタウンティーチャーへの参加を通じて地域へ出て活動することが出来ました。また、地域包括支援センターと浦賀地区ボランティアセンター主催の介護技術講習へ講師として参加をすることが出来ました。第三者委員会は年4回、計画通りに実施することが出来ました。今後も地域のニーズを把握し、ともに課題解決できるような活動を行っていきたくと考えています。

[年齢別・介護度別利用状況一覧]

	支援1	支援2	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	合計	構成比(年齢)
64歳以下	0	0	0	0	0	0	0	0	0%
65歳～69歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0%
70歳～74歳	0	0	0	0	0	1	0	1	1%
75歳～79歳	0	0	1	3	2	2	4	12	14%
80歳～84歳	0	0	5	5	4	4	1	19	22%
85歳～89歳	0	0	2	9	9	7	1	28	32%
90歳以上	1	0	3	6	11	3	4	28	32%
計	1	0	11	23	26	17	10	88	100%
構成比(介護度)	1%	0%	13%	26%	30%	19%	11%	100%	

[職種別職員内訳]

・総職員数132名(内 常勤職員72名、非常勤職員60名)

職種	特養		短期		通所	
	常勤	非常勤	常勤	非常勤	常勤	非常勤
施設長	1(兼務1)					
次長	1					
介護支援専門員	3(兼務3)	0	0	0	0	0
生活相談員	3(兼務2)	2	1	0	3(兼務2)	0
看護職員	2(兼務1)	5(兼務1)	1(兼務1)	0	0	2(兼務1)
機能訓練指導員	2(兼務1)	0	1(兼務1)	0	0	2(兼務2)
歯科衛生士	0	1	0	0	0	0
介護職員	42(兼務1)	15	5	4	5(兼務2)	3
介護補助職員	0	3	0	1	0	1
管理栄養士	2(兼務1)	0	1(兼務1)	0	0	0
厨房職員	1	11	0	0	0	0
事務職員	0	2	0	0	0	0
車両営繕	0	6	0	0	0	0
宿直	0	3	0	0	0	0
保育職員	5	2	0	0	0	0
計	58	50	7	5	6	5

※兼務職員を含むため実人数とは異なります

2.太陽の家二番館

①安定した稼働の維持（目標稼働：短期96%）

居宅介護支援事業所への継続した営業活動や特養の空床利用により、短期入所年間稼働率は目標96%に対して98.2%を達成することが出来ました。特養事業との連携強化も出来ており、毎週の定例会だけでなく適宜集まる機会を設け、空床状況の共有を行った結果であると考えます。また、特養でコロナクラスターが発生した際も受け入れを中止することなく運営を継続し、感染拡大することなく難局を乗り越えることが出来ました。2月より特養と同様に見守りカメラを導入し、ご利用者、ご家族にとっての安心材料となっています。年間通して短期入所の苦情も0件でした。

②ご利用者、ご家族の満足度を上げる

令和5年10月にご利用者満足度アンケートを実施したところ、8割以上のご利用者・ご家族より満足している旨の回答をいただくことが出来ました。リピート率も70%以上を継続できており「また来たい」と思っていただけのサービスが提供できている結果であると捉えています。短期入所としては初めて「茶話会」を開催し、ご家族の直接の声を聞くことでサービスの向上を図りました。季節に合わせた調理レクや作品づくりといったレクリエーションを通してご利用者と職員が共に楽しむ空間を創ることができたことも、リピート率の維持に繋がっているのではないかと考えます。また、今年度は特養と共に年間4回の第三者委員会を開催しました。

③チームビルディング

毎月1回ユニット会議の際に職員が持ち回りで担当になり勉強会を開催しました。接遇や感染症予防など様々な議題を自分たちで調べ、自発的に取り組むことで、職員一人一人の自覚を促すことができました。特養と共に令和6年2月よりICT見守りセンサーを導入し、ご利用者の安全の確保に努め、安心してご利用いただける環境づくりにも取り組みました。

④地域の安心を支える存在になる

地域の活動に関しては毎月実施している認知症カフェ「ぬくもりカフェ」に参加する他、地域の方と定期的にふれあう機会を設け、施設の周知や広報活動を行いました。令和5年10月、令和6年3月に鴨居地区にて太陽の家・在宅サービスと協働し、地域向けの介護についての講座を開催しました。短期入所事業についての広報活動も含め地域の方向けのイベントを開催することが出来ました。KUROFUNO清掃隊との活動にも参加しました。また、ボランティア招致も再開し、車いすダンス、ビバアルモニカなどコロナ禍で招致できていなかった団体も引き、ご利用者の楽しみにつながっています。

[年齢別・介護度別利用状況一覧]

	支援1	支援2	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	合計	構成比(年齢)
64歳以下	0	0	1	0	0	2	0	3	4%
65歳~69歳	0	0	0	1	0	1	0	2	3%
70歳~74歳	0	0	1	0	2	2	0	5	6%
75歳~79歳	0	0	1	4	1	4	6	16	21%
80歳~84歳	0	0	7	5	3	5	1	21	27%
85歳~89歳	0	0	3	6	5	3	3	20	26%
90歳以上	0	0	2	1	2	1	5	11	14%
計	0	0	15	17	13	18	15	78	100%
構成比	0%	0%	19%	22%	17%	23%	19%	100%	

[職種別職員内訳]

・総職員数102名(内 常勤職員55名、非常勤職員47名)

職種	特養		短期	
	常勤	非常勤	常勤	非常勤
施設長	1			
次長	1			
介護支援専門員	2(兼務2)	0	0	0
生活相談員	2(兼務2)	0	2	0
看護職員	2	4(兼務1)	1	0
機能訓練指導員	2	0	0	1(兼務1)
歯科衛生士	0	1	0	0
介護職員	35	20	5	4
介護補助職員	0	5	0	0
管理栄養士	2	0	1	0
厨房職員	1	2	0	0
事務職員	0	2	0	0
車両営繕	0	5	0	0
宿直	0	4	0	0
計	46	43	9	4

※兼務職員を含むため実人数とは異なります

3.太陽の家座間

①稼働の安定・加算の取得と維持

平均介護度特養4.0・短期3.5を維持できるも、特養短期平均稼働率目標値98%は未達に終わりました。年度当初は入退所の動きは緩やかでしたが、下半期コロナ感染からの二次的な病状によりADL低下にて退所・看取りでのご逝去もあり退所が多くなり、結果入所件数41件・退所件数41件となりました。今年度はベッドを空いたままにしないという空床利用の意識が現場職員も強くなり、空床利用・緊急ショートを受け入れは多職種の迅速な協力・調整によりかなり多く対応できました。しかし今年度の目標であった「待機者10名確保」は一度も達成できず入所ご案内までに時間を要してしまいうこともありました。

協力医療機関との連携は的確に行えましたが、医療機関職員配置変動があったため更なる信頼関係の構築が必要となり時間を割く結果となりました。下半期より相模原清菊園と定期的なミーティングの開催・営業活動を実施し、情報共有に限らずエリアとしてチーム連携構築に努めました。

加算の取得に関しては、予定より早く4月当初から科学的介護推進体制加算・自立支援推進加算・褥瘡支援加算の取得算定はできましたが、特養看護体制加算Ⅱ・短期看護体制加算Ⅰは職員定着・出勤日数の定着とならず取得できませんでした。

また報連相強化するためにリーダー育成等に努めましたが、一般職員への落とし込みまでは行き届かず満足な状態には至りませんでした。ユニット会議・多職種会議の中身の充実によりしっかりと共有・伝達・育成に努めていくことが今後の課題となっています。

② 24シートの充実・レク活動の強化・健康管理の強化

24シートの作成は行えているも有効活用ができるまでのレベルには達することはできませんでした。定期カンファレンス・担当者会議の開催はできており、ご家族も参加できるよう努めました。

レク活動では、横浜・県央エリア各施設秋祭りに他2施設もブース設置にて参加し、コロナ禍開けご家族参加型秋祭り開催実現で、ご家族にも施設の様子を知っていただける機会が作れました。

「ご家族への手紙」の定期的な作成・発信に加え、SNS発信については新卒職員が担当するなど、昨年度に比べ日々の様子のタイムリーな発信ができました。健康管理の強化については、前年度に比べ入院数が増加してしまいましたが、内科・精神科への上申書作成前までに現場職員が日々の様子・不安要素などを記載した意見書を基に、看護師が上申書を作成し嘱託医へ報告・相談する体制へ変更実施しました。また下半期より採血等の実施を強化し、早期治療の開始や協力医療期間へ受診できる環境を構築しました。日々医療処置が必要なご入居者の受け入れも多くなってきていますが「できない」ではなく「どうしたら対応していけるか」の意識のもと受け入れができるよう指導を行い、今後も継続していきます。

③ 感染対策の強化・5S活動の推進・委員会の強化

今年度は新卒職員5名配属となり、新卒職員へ技術研修中心に対応ができました。毎月振り返りを行うことで技術強化と育成状況の把握の共有に努めました。感染症対策の強化について「持ち込まない・移さない・拡げない」ことを職員に強く意識付けしていましたが、クラスターが起きてしまった現実があり、都度振り返り・感染症対策のやり方の見直しをしながら対策対応を行いました。

同様に5S活動は全体としては反省点が残る結果となりました。おむつ定数管理やコストに関する意識付けは強化されかなりのコスト削減が成功しました。施設全体の業務改善の見直し・マニュアル作成・周知は実施でき、各専門職業務改善等の見直し・再考は次年度必要となります。また委員会活動は人員的な問題や職員の意識がまだ弱く開催頻度にむらが出てしまい、委員会の実施率は高くても内容が希薄なものもありました。次年度は役職者がオブザーバーとして介入を行い内容の強化に努めます。

④ 地域住民が在宅生活を維持できるような支援の実施

上半期はコロナ状況に伴い活動が希薄でしたが、市役所主催の研修に参加する他、認知症サポーター養成講座手伝いとして参加しました。下半期は自治会主催の美化清掃や市役所主催「相模川クリーン推進運動」へ参加する以外に、駐車場や地域交流スペースにおけるイベント開催のための場所貸しの協力にて今まで「太陽の家座間」を知らない方が訪れる機会が増えました。

また居宅誘致の移動パン販売とは別の移動パン屋を導入し、月2回販売日を設けて、地域住民が気軽に足を運べる機会を作ることができました。

[年齢別・介護度別利用状況一覧]

	支援1	支援2	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	合計	構成比(年齢)
64歳以下	0	0	0	0	0	1	0	1	1%
65歳~69歳	0	0	0	0	1	1	3	5	4%
70歳~74歳	0	0	0	3	1	2	1	7	5%
75歳~79歳	0	0	1	4	1	2	0	8	6%
80歳~84歳	0	0	0	4	9	7	8	28	20%
85歳~89歳	0	0	7	12	8	12	5	44	31%
90歳以上	0	2	6	8	9	17	6	48	34%
計	0	2	14	31	29	42	23	141	100%
構成比(介護度)	0%	1%	10%	22%	21%	30%	16%	100%	

[職種別職員内訳]

・総職員数116名(内 常勤職員64名、非常勤職員52名)

職種	特養		短期		居宅	
	常勤	非常勤	常勤	非常勤	常勤	非常勤
施設長	1					
次長	1(兼務1)					
介護支援専門員	1(兼務1)	0	0	0	2	0
生活相談員	0	0	0	1	0	0
看護職員	4	3	0	0	0	0
機能訓練指導員	1	0	0	0	0	0
歯科衛生士	1	0	0	0	0	0
介護職員	40	9	9	1	0	0
介護補助職員	0	23	0	3	0	0
管理栄養士	1	1	0	0	0	0
厨房職員	0	0	0	0	0	0
事務職員	1	3	0	0	0	0
車両営繕	0	2	0	0	0	0
宿直	0	4	0	0	0	0
保育職員	2	2	0	0	0	0
計	53	47	9	5	2	0

※兼務職員を含むため実人数とは異なります

4.太陽の家横濱羽沢

①安定した経営と選ばれる施設を目指します

年間を通した目標稼働98.5%は達成することができませんでした(上半期96.3%、下半期98.5%)。上半期は部屋に空きが出た後の次の案内が遅れることによって特養の稼働に課題が残りました。下半期以降は、対策が功を奏して稼働の回復ができましたが、年間平均では目標を下回る結果となりました。経費削減策については、まだ改善の余地があると考えていますが、横浜市の指導監査では他の施設よりペーパーレスが進んでいることを評価されました。今年度は新加算の算定はありませんでしたが、看護師の配置を厚くするなど、医療的ケアが必要な方々の受入れを促進し、横浜市医療対応促進助成金の算定対象となり継続できています。

② ご入居（利用）者やご家族の思いを実現する為、根拠ある個別ケアを実践します

イベント開催は、施設全体イベントは毎月開催し、その他ユニット単位でのイベントも活性化した1年でした。年間でも最大のイベントである秋祭りでは、大雨にもかかわらず、300名ほどの来場がありました。感染症対策では、医師との連携の上、予防強化が実現でき、面会を緩和しました。そのことでご家族が施設に足を運ぶことが可能になり、当たり前の暮らしが戻りつつあります。ICTの導入面において見守りセンサーの活用では事例発表や他施設のモデルとなる機会が増え同業種への認知も広げられました。特に終末期には、DATAに基づいた介護職の判断によって、ほぼ全看取り対象者の方々の、最期の時間をご家族が共に立ち合える環境が構築できました。根拠あるケアを実現する事が、ご家族にとっても安心ある生活につながると考えており、より一層その取り組みを強化する1年となりました。

③ 職員のやりがいの為に評価制度を明確にし、キャリアアップと長く働ける職場環境を目指します

面談シートについて横浜エリアで統一した書式及び管理共有方法を導入した1年となりました。このことで、職員との面談内容がスピーディーに且つ連続性をもって、管理職で共有されることにつながっており、早期対応や管理職チームでの対応が図れてきています。離職ゼロの目標にはまだ課題もありますが、退職意向があつてから、退職までの期間も伸びてきており、意向が出てから退職するまでの期間が短いことによる現場の混乱回避に資することができてきていると考えています。また面談の際、本人のモチベーション向上に対して、直属上司1名だけでなく、管理職チームで対応することも効果が出てきています。

④ 地域との連携体制を強化します

地域の移動支援活動では、施設車を利用した活動が行われました。また、自治会や地域の野球チーム、音楽の練習場など、積極的な施設設備の貸し出しを行った結果、地域との相互のやり取りが活発化しました。このことから、子供から高齢者まで、幅広く地域へ当施設の認知度を高めることにもつながっており、申込者の増加などにもつながってきています。

[年齢別・介護度別利用状況一覧]

	支援1	支援2	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	合計	構成比(年齢)
64歳以下	0	0	0	1	0	0	0	1	1%
65歳～69歳	0	1	0	0	2	0	2	5	3%
70歳～74歳	0	0	0	2	1	1	1	5	3%
75歳～79歳	0	0	3	3	4	6	4	20	13%
80歳～84歳	0	0	4	4	3	5	3	19	13%
85歳～89歳	0	0	5	6	12	8	3	34	23%
90歳以上	0	2	5	13	24	15	6	65	44%
計	0	3	17	29	46	35	19	149	100%
構成比(介護度)	0%	2%	11%	19%	31%	23%	13%	100%	

[職種別職員内訳]

・総職員数122名(内 常勤職員63名、非常勤職員59名)

職種	特養		短期		通所	
	常勤	非常勤	常勤	非常勤	常勤	非常勤
施設長	1					
次長	1					
介護支援専門員	4	0			0	0
生活相談員	2	0			1	0
看護職員	3	5			1	2
機能訓練指導員	0	0			0	0
歯科衛生士	1	0			0	0
介護職員	42	17			2	2
介護補助職員	0	24			0	2
管理栄養士	2	0			0	0
厨房職員	0	0			0	0
事務職員	2	1			0	0
車両営繕	0	2			0	2
宿直	0	0			0	2
保育職員	1	0			0	0
計	59	49			4	10

※短期職員に関しては特養職員が兼務しています また兼務職員を含むため実人数とは異なります

5.太陽の家相模原清菊園

①経常利益確保

特養と空床型ショートステイ合わせて年間稼働率94.5%と目標を大幅に下回る結果となりました。退居者が例年と比べ3倍の50名となったこと、営業不十分で入居調整に時間を取られスムーズな受け入れができなかったこと、また待機者確保ができなかったことが要因です。期中より待機者を確保する為、太陽の家座間と連携して営業回りや入居情報の共有を行いました。その結果、短期入所者の年間延べ人数が59名となり、年間稼働のうち2.7%を占めるようになりました。また、5名のご利用者が短期入所から特養入所に切り替わるという成果にも繋がりました。経口維持加算取得者は60名から87名(年間加算取得人数)に増えてましたが、口腔衛生管理加算は書類作成に時間を要するため取得には至りませんでした。看護師が派遣職員のみで運営した時期もあり収入に対して人件費率が約70%を占めましたが、事業費事務費等の経費は約20%に抑えることができました。稼働率を安定させ収入を確保することの重要性をより強く意識する年となりました。

②ケアの追求と満足度を図る

コロナ禍で入居者家族からオンライン面会の要望が多かった為Wi-Fi環境整備を計画していましたが、稼働率低迷により当年度の実施は見送りました。コロナ感染状況が幾分落ち着いてきましたので、今後は介護業務のICT化による業務効率化や、入居者向けのサービス向上、またネット環境を期待する入居者確保等を念頭に置いて補助金などを活用し次年度整備を目指します。

③働く満足度を上げ、離職率を低下させる

看護師不足に伴い多職種によるサポートを多く必要とする年となりました。人員体制を再構築し専門業務に専念できる環境整備が急務であると考えています。ケアマネ・生活相談員の情報共有を目的とした太陽の家座間との定期会議をはじめ、県央エリア間におけるユニットリーダーの交流研修を実施しました。またオンラインではありませんが、パフォーマー研修に参加しエリア間で交流を図ることができました。しかしながら、離職者数は常勤・非常勤合わせて14名(うち看護師4名)であり、15%という高い離職率となりました。家庭の事情や体調面等で就業困難な職員もいたので一概に働きづらい環境であったとは言えないものの、対策として、協力ユニットでのシフト作成や、一部ユニットへの変形労働制導入による業務の標準化に向けた取り組みを実施しました。次年度はICT導入による働きやすい環境の実現と、施設に対する愛着心、思入れの向上を目指します。

④地域交流の基盤作りを行う

地元のキッチンペーパー店や大手コンビニエンスストアの訪問販売を毎月実施し、定着化させました。また子ども食堂(なかよし食堂)とのコラボイベントを開催するなど、地域交流、入居者の社会参加を実現することができました。さらに施設内にさがみはらSDGs推進自動販売機を設置しました。売上の一部が相模原市のSDGs推進事業に寄附されることから、来訪者、ご入居者とそのご家族、職員に向けて飲んで貢献しているという意識づけが出来ました。今後は他のパートナー事業者と連携し、地域交流の一環でSDGsの周知と相模原清菊園の知名度アップに向けた活動を進めてまいります。

[年齢別・介護度別利用状況一覧]

	支援1	支援2	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	合計	構成比(年齢)
64歳以下	0	0	0	0	0	0	1	1	3%
65歳～69歳	0	0	0	0	0	0	1	1	3%
70歳～74歳	0	0	0	0	2	2	0	4	11%
75歳～79歳	0	0	0	0	0	2	0	2	6%
80歳～84歳	0	0	1	1	3	1	1	7	20%
85歳～89歳	0	0	2	0	2	2	1	7	20%
90歳以上	0	1	3	3	2	1	3	13	37%
計	0	1	6	4	9	8	7	35	100%
構成比(介護度)	0%	3%	17%	11%	26%	23%	20%	100%	

[職種別職員内訳]

・総職員数89名(内 常勤職員46名、非常勤職員43名)

職種	特養		短期	
	常勤	非常勤	常勤	非常勤
施設長	1			
次長	1			
介護支援専門員	2(兼務1)	0	0	0
生活相談員	(兼務1)	0	0	0
看護職員	1	5	0	0
機能訓練指導員	1	0	0	0
歯科衛生士	0	0	0	0
介護職員	37	15	0	0
介護補助職員	0	10	0	0
管理栄養士	1	0	0	0
厨房職員	0	0	0	0
事務職員	2	1	0	0
車両営繕	0	9	0	0
宿直	0	3	0	0
保育職員	0	0	0	0
計	46	43	0	0

※兼務人数に関して実人数と異なります

5事業比較データ

(2)短期入所事業

①平均介護度（令和5年度末時点）

太陽の家	二番館	座間	羽沢	清菊園
3.1	3	3.2	3.3	3.2

②平均稼働率（令和5年度末時点）

太陽の家	二番館	座間	羽沢	清菊園
90.5	98.1	105.3	136.4	3

③利用者平均年齢

太陽の家		二番館		座間		羽沢		清菊園	
男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性
86	84.9	85	85.4	88.3	85.5	84.4	88.1	75.6	90.8

④利用者最高年齢

太陽の家		二番館		座間		羽沢		清菊園	
男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性
93	100	93	99	97	99	104	103	94	100

⑤事故件数

	太陽の家	二番館	座間	羽沢	清菊園
転倒・転落	21	4	64	31	9
異食・盗食・誤飲	1	0	1	0	0
皮下出血	7	7	42	9	4
表皮剥離	1	6	35	3	0
作業ミス	0	0	2	0	0
暴力行為	0	0	18	0	0
誤薬・服薬漏れ・落下薬	12	1	1	14	0
骨折（原因不明含む）	0	0	0	0	0
その他	7	0	5	8	0
計	49	18	168	65	13

⑥苦情受付数

	太陽の家	二番館	座間	羽沢	清菊園
職員の接遇	1	0	1	0	0
サービスの質・量	0	0	0	1	0
利用料	0	0	0	0	0
説明・対応	0	0	0	0	0
被害・損害	0	0	0	0	0
人員配置	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	2	0
計	1	0	1	3	0

(4)通所介護事業

1.太陽の家デイサービスセンター

①安定した事業運営のための取り組み

年間稼働率は88.1%と目標である87%を達成することが出来ました。特に下半期の11月から3月にかけては89%から90%と高い稼働を維持することが出来ました。年間を通して新規利用者は少ないものの、増回希望が多かったことが高い稼働につながったと考えられます。営業活動に関しては太陽の家居宅をはじめ、主要な事業所へほぼ毎月実績を持参し訪問を実施しました。また、定期的に新規受け入れ状況の共有、既存の利用者についての利用状況の報告を行いました。事業所内においても緊急での短期利用や特養入所の際、情報共有を随時行うことができました。費用削減の面では、今後太陽の家居宅・包括との間で提供票についてワイズマンを利用し、ペーパーレス化に向けた取り組みを進めます。加算については科学的推進体制加算の算定をすることができました。今後も新たな加算算定を目指していきます。

②サービスの質向上を図り、満足度を高める

年間を通して季節行事のレクリエーションを計画通りに実施できました。特に調理レク、季節の制作、ゲームなどはご本人・ご家族からも楽しいとの言葉をいただきました。満足度調査に関しては今年度は1回実施しましたが、全体的に高い評価をいただくことができました。一人一人に合わせたケアや職員の接遇、特に送迎時の対応で高い評価をいただきました。毎日のミーティングや定例会議で利用者情報を職員間で伝え合うことで、ケアの質の維持ができていると考えます。

③ 個々の職員の人材育成、働き方改革の推進

人事考課以外で職員の様子を見て定期的に面談と振り返りを実施することができました。また新しい職員に関しては随時面談を行い、進捗状況を確認する他、日頃感じていることに耳を傾け不安にならないように努めました。後進の育成に関しては少しずつ新たなことに取り組む形で進めていますが、引き続き今後の課題となっています。残業時間や業務負担の偏りに関しては業務内容の見直しを定例会議での議題とし、軽減策を講じているところですが、まだ改善の余地があり、この点についても引き続きの課題となっています。

④ 地域への関り

令和6年3月にサービスを終了する事業所が地域にあったため、デイサービスの継続を希望する利用者の受け皿となるべく、地域のケアマネジャーと連携し、出来る限りサービス利用を継続できるような体制を整えることが出来ました。地域活動への参加や外部活動への参加に関しては、地域包括支援センター主催の「移乗介助勉強会」に参加しました。今後も包括職員と連携し、町内会や自治会と協力しながら地域向けの教室やイベントに積極的に参加し、関係性を構築してまいります。

[利用状況]

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
稼働日数		25	27	26	26	27	26	26	26	25	24	25	26	309
全体(延べ人数)		665	692	682	683	695	659	680	700	666	641	670	701	8134
全体(平均利用者数)		26.6	25.6	26.2	26.3	25.7	25.3	26.2	26.9	26.6	26.7	26.8	27	26.3
月初登録者数		89	86	85	86	81	81	79	82	81	82	81	78	991
開始利用者数		0	2	2	0	1	1	3	3	2	0	0	1	15
終了利用者数		3	3	1	5	1	3	0	4	1	1	3	3	28
月末登録者数		86	86	86	84	81	80	82	82	82	82	78	76	985
介護 別 延 べ 人 数	要支援1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	要支援2	22	13	15	17	18	17	17	16	15	14	13	15	192
	要介護1	287	279	284	244	257	237	231	236	205	205	217	229	2911
	要介護2	170	194	199	223	218	203	204	229	236	226	251	267	2620
	要介護3	103	109	106	126	131	24	147	136	133	124	129	121	1389
	要介護4	58	65	48	45	51	59	57	51	49	50	39	46	618
	要介護5	24	27	27	25	16	16	21	27	25	18	17	19	262
種 別	通所介護	642	674	664	663	673	639	660	679	648	623	653	682	7900
	通所型みなし	23	18	18	20	22	20	20	21	18	18	17	19	234
	キャンセル	122	146	136	134	134	141	115	114	123	117	108	100	1490

[職種別職員内訳]

・総職員数132名(内 常勤職員72名、非常勤職員60名)

職種	特養		短期		通所	
	常勤	非常勤	常勤	非常勤	常勤	非常勤
施設長	(兼務1)					
次長	1					
介護支援専門員	3(兼務3)	0	0	0	0	0
生活相談員	1(兼務2)	2	1	0	3(兼務2)	0
看護職員	2(兼務1)	5(兼務1)	1(兼務1)	0	0	1(兼務1)
機能訓練指導員	1(兼務1)	0	(兼務1)	0	0	(兼務2)
歯科衛生士	0	1	0	0	0	0
介護職員	43(兼務1)	15	5	4	3(兼務2)	3
介護補助職員	0	3	0	1	0	1
管理栄養士	2(兼務1)	0	(兼務1)	0	0	0
厨房職員	1	11	0	0	0	0
事務職員	0	2	0	0	0	0
車両営繕	0	6	0	0	0	0
宿直	0	3	0	0	0	0
保育職員	5	2	0	0	0	0
計	58	50	7	5	6	5

※兼務職員を含むため実人数とは異なります

2.太陽の家神大寺

①安定した経営と選ばれる施設を目指します

利用者の獲得の為、年度末から横濱羽沢と連携し集客の為にイベントを開催しました。少しずつ利用に繋がりましたが、スタートが遅く、稼働率60%を達成することはできませんでした。地域での知名度も低いことが分かり、ケアマネジャーや地域住民にに知っていただく活動が急務だと考えています。閉鎖的雰囲気だった部分は設えを変える等の工夫で少しずつ開かれた事業所となってきています。

② ご入居（利用）者やご家族の思いを実現する為、根拠ある個別ケアを実践します

週替わりで開催するイベントを行うことで、ゆしみのあるデイサービスを実現することができました。

③ 職員のやりがいの為に評価制度を明確にし、キャリアアップと長く働ける職場環境を

横濱羽沢と神大寺の配置転換等を行いました。日常的にも管理職、専門職の派遣を行い、職員のやりがいが出るよう働きかけました。

④ 地域との連携体制を強化します

地域への参加としては自治会のイベントへご利用者と参加することができました。一方で、人が集うデイサービスとして、また地域の居場所として、まだまだ課題が残る状況です。

[利用状況]

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
稼働日数		25	27	26	26	27	26	26	26	25	24	25	26	309
全体(延べ人数)		118	131	121	136	142	141	134	135	120	119	142	147	1586
全体(平均利用者数)		4.7	4.9	4.7	5.2	5.3	5.4	5.2	5.2	4.8	5	5.7	5.7	5.15
月初登録者数		19	18	21	20	19	18	17	17	17	18	19	18	221
開始利用者数		0	3	0	0	2	0	0	0	1	0	1	0	7
終了利用者数		1	0	1	1	3	1	0	0	0	0	1	0	8
月末登録者数		18	21	20	20	19	18	17	17	18	18	19	18	223
介 護 別 延 べ 人 数	要支援1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	要支援2	20	24	24	31	30	31	29	30	26	21	27	30	323
	要介護1	28	33	26	23	35	34	31	33	33	29	31	31	367
	要介護2	23	21	24	36	26	7	7	9	7	6	8	9	183
	要介護3	39	43	39	36	40	57	55	54	41	48	53	53	558
	要介護4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	5	4	11
	要介護5	8	10	8	10	11	12	12	9	13	13	18	20	144
種 別	通所介護	98	107	97	105	112	110	105	105	94	98	115	117	1263
	通所型みなし	20	24	24	31	30	31	29	30	26	21	27	30	323
	キャンセル	17	47	52	45	36	32	24	34	57	68	27	52	491

[職種別職員内訳]

・総職員数122名(内 常勤職員63名、非常勤職員59名)

職種	特養		短期		通所	
	常勤	非常勤	常勤	非常勤	常勤	非常勤
施設長	1					
次長	1					
介護支援専門員	4	0			0	0
生活相談員	2	0			1	0
看護職員	3	5			1	2
機能訓練指導員	0	0			0	0
歯科衛生士	1	0			0	0
介護職員	42	17			2	2
介護補助職員	0	24			0	2
管理栄養士	2	0			0	0
厨房職員	0	0			0	0
事務職員	2	1			0	0
車両営繕	0	2			0	2
宿直	0	0			0	2
保育職員	1	0			0	0
計	59	49			4	10

※短期職員に関しては特養職員が兼務しています また兼務職員を含むため実人数とは異なります

2事業比較データ

(3)通所介護事業

①平均介護度（令和5年度末時点）

太陽の家	神大寺
2.0	2.0

②平均稼働率（令和5年度末時点）

太陽の家	神大寺
88.1	34.2

③利用者平均年齢

太陽の家		神大寺	
男性	女性	男性	女性
87.4	87.2	82	86

④利用者最高年齢

太陽の家		神大寺	
男性	女性	男性	女性
98	100	91	97

⑤事故件数

	太陽の家	神大寺
転倒・転落	4	0
異食・盗食・誤飲	0	0
皮下出血	0	0
表皮剥離	0	0
作業ミス	0	0
暴力行為	0	0
誤薬・服薬漏れ・落下薬	0	0
骨折（原因不明含む）	0	0
その他	1	0
計	5	0

⑥苦情受付数

	太陽の家	神大寺
職員の接遇	0	0
サービスの質・量	0	0
利用料	0	0
説明・対応	0	0
被害・損害	0	0
人員配置	0	0
その他	0	0

(5)居宅介護支援事業

1.太陽の家居宅介護支援センター

①事業所の黒字化、法人内事業所との連携と実績貢献

【収入、利益ともに予算達成（利益率12.2%）】

9月に1名退職し、職員数が足りない状態でしたが、退職者の担当ケースを外部に outsourching せず事業所内で引継いだ事、介護度の高いケースと予防を受入れた事、加算の算定や認定調査を確実に行った事で予算を達成することができました。

【法人内部サービスへの紹介件数：147件 利用に結び付いた件数：66件】

新規利用や変更時には必ず、法人内事業を含めた事業所を紹介しました。

【残業時間削減：前年度比-28.8%】

②質の高いケアマネジメントの実施

【日常的に職員全員で全てのケースの情報共有実施→苦情0件】

担当者が不在でも、連絡相談できる体制を作り、事業所全体で支援することができました。

【毎月事例検討会実施、外部研修年間10回以上参加】

職員全員が確実に参加、経験する事で、ケアマネジメントの視点の幅を広げ、スキルアップすることができました。

③業務効率化の仕組み作り、職員ケア

【記録方法・ファイル方法を見直し、統一を図ることで、効率化を実現】

定型文やテンプレートを作成、記録内容とファイリングを統一化し、確実に迷う事なく業務を進める事で効率化することができました。

【ケアプランデータ連携システムを導入し、月100枚以上のペーパーレス化が図れた】

導入する事業所が徐々に増え、印刷代や郵送費等も削減することができました。

【全職員と1 on 1 実施（毎月）】

確実に毎月行う事で、職員全員との信頼関係構築、職員の意欲や問題、事業所の課題把握をすることができました。

④地域との連携

【年2回 他事業所との事例検討会実施 その他研修への参加】

7月と3月に他事業所との事例検討会を行い、異なる方法や視点で経験値を増やす事ができ、連携を図る事ができました。また、包括・医療機関・ケアマネ協会等主催の研修への参加や、病院からの積極的な受入れの実施により、多職種連携と関係性構築を図ることができました。

[利用者状況]

	項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
要介護者	件数	176	181	189	182	170	168	171	172	169	170	176	175	2099
要支援者	件数	9	11	9	9	10	9	7	9	8	9	10	15	115
認定調査	件数	9	11	11	10	9	14	13	5	9	10	11	9	121

[苦情内容別割合]

	件数
職員の接遇	0
サービスの質・量	0
利用料	0
説明・対応	0
被害・損害	0
人員配置	0
その他	0
合計	0

2.ケアプランセンター 太陽の家座間

①地域住民が参加できる行事を年2回企画・実施する

今年度より、太陽の家座間地域交流スペースを活用して新田宿地域包括支援センターと共同して地域住民向けサロンを2回開催しました。11月「福祉用具体験」32名参加、1月「有料老人ホームについて」17名参加、その他1月には座間発案の「トルコランプワークショップ体験」も共同開催し太陽の家座間ショートステイご利用者・特養ご入居者・そのご家族含め29名参加の企画も実施しました。

また、5月より月2回（第1・3金曜日）に市内デイサービス事業所に依頼しパンと採れたて野菜の移動販売を職員と近隣住民向けに開始しました。引き続き「太陽の家座間」を知っていただき足を運んでいただけるような地域住民や施設ご入居者参加型企画を行事を企画していきます。

②居宅担当件数を最大にする

要介護者の年間平均担当件数71.8件、要支援者平均10.9件となり目標達成しました。また市内包括支援センター・近隣医療機関・ご家族からの相談等新規依頼は34件となっており、多くが施設入所となったため終了件数が31件でした。昨年までに比べると、直接相談を受けて新規担当依頼を受けることも増えました。今後も関係機関との連携を密に行い担当件数最大維持を目標として、業務効率化を図り迅速に対応できるよう行動していきます。

[利用状況一覧]

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
要介護者	件数	72	77	71	76	74	68	70	71	72	70	71	70	862
要支援者	件数	11	12	12	11	11	11	10	10	11	10	11	11	131
認定調査	件数	0	3	2	1	1	3	3	0	0	0	2	2	17

[苦情内容別割合]

	件数
職員の接遇	0
サービスの質・量	0
利用料	0
説明・対応	0
被害・損害	0
人員配置	0
その他	0
合計	0

(6)在宅系グループ

1.地域包括支援事業(浦賀地域包括支援センター)

①事業評価での加算取得と法人内紹介で収入を増やす

内部紹介として、居宅への紹介は毎月8件以上、小規模多機能、有料、グループホームへの紹介は月平均で3.08件実施しました。地域包括支援センターの事業評価では、今年度は事業所訪問での評価がありA評価を取得しました。

②ワンストップサービスとして総合的な相談に対応できる

週1回のケース報告と隔月の事例検討の実施で個人での判断ではなく包括支援センターのケースとしての方向性を検討して支援を実施しました。行政の取り組みとの協働では、障害者基幹センターに1件相談、認知症初期集中支援チームに3件相談し、同行訪問等を行いました。権利擁護については、担当地区内で消費者被害が多かったので、2町内にて消費生活センターより講師に来てもらい防止について講演しました。詐欺防止電話補助金は職員全員で相談の際に周知を行い、導入を促しました。虐待、後見については広報誌を回覧し周知しました。

③仕事に達成感が得られる・健康維持できる職場づくり

毎月、個人面談は実施しましたが、個人目標については数値化等の適切な目標設定ができず評価も難しいと感じました。タイムマネジメント該当職員の残業時間平均は、業務改善等に取り組み上期から下期で20%減らすことができました。外部研修は一人当たり5回を目標に取り組みましたが、達成できない職員が3人いました。ケアプランの担当件数は、一時期50を超える職員が複数おりましたが、委託の依頼なども行い、一番少ない3職種で29件となりましたが、職員の異動等もあり市が示している27件を達成することはできませんでした。

④他機関や地域と協力しながらネットワークを作る

地域ケア個別会議7件、ケアマネ支援2件実施しました。個別会議では町内会、民生委員、近隣住民、ケアマネジャー、行政とともに地域に暮らす方の困りごとについて検討しました。

地域に向けての介護予防教室では、主催型教室(年2回)地域型教室(36回)実施でき、多数の参加をいただきました。包括的ケア会議の開催は、上期で訪問診療をテーマに小磯診療所と開催、下期で高齢者のごみ捨てをテーマに民生委員、町内会、ケアマネ、事業所、行政で開催し、地域、専門職と久しぶりに大人数の対面での会議が開催できました。

[新規相談件数]

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
件数	52	58	58	73	79	58	65	61	65	87	76	51	783

[給付管理件数(自社)]

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
新規	10	14	6	13	12	7	17	9	18	15	18	5	144
継続	316	312	317	310	314	320	315	330	329	332	332	333	3860
合計	326	326	323	323	326	327	332	339	347	347	350	338	4004

[給付管理件数(委託)]

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
件数	74	68	75	78	86	81	78	81	81	87	95	98	982

[苦情受付件数]

	件数
職員の接遇	0
サービスの質・量	0
利用料	0
説明・対応	3
被害・損害	0
人員配置	0
その他	0
計	3

[説明会、講座、教室等(地域にむけてのもの)]

開催月	場所・町内名	内容	依頼者	参加人数
4月	二葉アルカディア	介護予防教室(派遣型)	民生委員	19
	生協さざんかの会	介護予防教室(派遣型)	サークル長	18
5月	小原台サロン	介護予防教室(派遣型)	民生委員	17
	フローラル	介護予防教室(派遣型)	サークル長	11
	脇方サロン	介護予防教室(派遣型)	民生委員	18
6月	なでしこの会北方	介護予防教室(派遣型)	民生委員	11
	高坂いきいきサロン	介護予防教室(派遣型)	民生委員	15
	北町ふれあいサロン	介護予防教室(派遣型)	民生委員	22
	医療生協さざんかの会	介護保険講話		19
	荒巻いきいきサロン	消費者被害・熱中症周知	サロン長	15
	地区社協高齢者福祉部会	介護保険講話	部会長	12
	包括主催	介護予防教室(主催型)	包括	29
7月	二葉ふれあい体操	介護予防教室(派遣型)	民生委員	15
	臨海さくら会	介護予防教室(派遣型)	民生委員	18
	川間老人会	介護予防教室(派遣型)	老人会役員	18
	地区社協高齢者福祉部会	認知症サポーター養成講座	部会長	
	ほっこりクラブ	介護予防教室(派遣型)	民生委員	12
	芝生町内会	熱中症周知	民生委員	

7月	荒巻いきいきサロン	介護予防教室（派遣型）	民生委員	10
8月	地区社協高齢者福祉部会	介護技術講習	部会長	13
9月	二葉ふれあいサロン	介護予防教室（派遣型）	民生委員	11
	福寿会	介護予防教室（派遣型）	グループ長	12
	海辺サロン	介護予防教室（派遣型）	グループ長	9
10月	フローラル	介護予防教室（派遣型）	民生委員	24
	荒巻いきいきサロン	介護予防教室（派遣型）	民生委員	15
	観音崎サロン	介護予防教室（派遣型）	民生委員	27
	小原台いきいきサロン	介護予防教室（派遣型）	推進委員	20
	高坂いきいきサロン	介護予防教室（派遣型）	民生委員	16
	高齢者福祉部会	介護予防教室（派遣型）	民生委員	23
	脇方サロン	介護予防教室（派遣型）	民生委員	17
11月	福寿草の会	介護予防教室（派遣型）	民生委員	19
	木曜ひまわり会	介護予防教室（派遣型）	民生委員	15
	なでしこの会北方	介護予防教室（派遣型）	民生委員	10
	臨海さくら会	介護予防教室（派遣型）	民生委員	20
12月	二葉アルカディア	介護予防教室（派遣型）	民生委員	21
	ほっこりクラブ	介護予防教室（派遣型）	グループ長	9
1月	南浦賀夢サロン	介護予防教室（派遣型）	元民生委員	20
	地区社協共催	鴨居ポッチャ説明会・大会		
2月	浦賀丘住宅自治会館 婦人部	介護予防教室（派遣型）	グループ長	32
	観音崎サロン	介護予防教室（派遣型）	民生委員	15
	地区社協共催	浦賀ポッチャ説明会・大会		
	南浦賀夢サロン	介護予防教室（派遣型）	元民生委員	18
3月	包括主催	介護予防教室（主催型）	包括	30
	海辺サロン	介護予防教室（派遣型）	グループ長	15
	さざんかの会	介護予防教室（派遣型）	推進委員	17
	和光台	介護予防教室（派遣型）	グループ長	18

[地域ケア会議、ネットワーク会議等(対専門職など、参加も含む)]

開催月	場所・町内名	内容
4月	浦賀地区民生委員協議会	挨拶・包括の紹介
	鴨居地区民生委員協議会	挨拶・包括の紹介
	横須賀南警察署	挨拶・包括の紹介
	浦賀行政センター	地域運営協議会福祉部会
	久里浜医療センター	認知症初期集中支援チーム員会議
5月	久里浜医療センター	認知症初期集中支援チーム員会議
	よこすか浦賀病院	浦賀・久里浜・大津地域連携の会
	ZOOM	虐待対応検討会議
	浦賀行政センター	浦賀地区社協総会
	横須賀市市役所	認知症初期集中支援全体会
	浦賀行政センター	支え合い協議会

6月	事業所	虐待ネットワークミーティング
	久里浜医療センター	認知症初期集中支援チーム員会議
	横須賀市役所	情報交換会
	事業所	虐待ネットワークミーティング
	横須賀市役所	ゆめ会議
	フィオーレあかり	介護予防ケアマネジメント説明会
	セントケア	介護予防ケアマネジメント説明会
	浦賀行政センター	地域運営協議会福祉部会
	浦賀行政センター	地域運営協議会全体会
7月	久里浜医療センター	認知症初期集中支援チーム員会議
	浦賀地区民生委員協議会	介護保険講話
	看護小規模多機能	運営推進会議
	浦賀行政センター	支え合い協議会
	グループホーム浦上台	運営推進会議
	ZOOM	虐待対応検討会議
	よこすか浦賀病院	浦賀・久里浜・大津地域連携の会
8月	小磯診療所	包括的ケア会議
	久里浜医療センター	認知症初期集中支援チーム員会議
	浦賀コミュニティセンター分館	地域別意見交換会
	消費生活センター	情報交換
	浦賀行政センター	地域運営協議会福祉部会
	シャローム	浦賀・大津共催ケアマネ勉強会
9月	横須賀市役所	情報交換会
	久里浜医療センター	認知症初期集中支援チーム員会議
	本人宅	地域ケア個別会議
	ZOOM	虐待対応検討会議
	浦賀行政センター	支え合い協議会
	看護小規模多機能	運営推進会議
	よこすか浦賀病院	浦賀・久里浜・大津地域連携の会
10月	かもめ倶楽部	運営推進会議
	久里浜医療センター	認知症初期集中支援チーム員会議
	浦賀行政センター	推進委員全体会（認知症講話）
	浦賀行政センター	地域運営協議会福祉部会・研修会（ヤングケアラー）
11月	久里浜医療センター	認知症初期集中支援チーム員会議
	本人宅	地域ケア個別会議
	ZOOM	虐待対応検討会議
	かもめ倶楽部	運営推進会議
	看護小規模多機能	運営推進会議
	浦賀行政センター	支え合い協議会
12月	横須賀市役所	情報交換会
	久里浜医療センター	認知症初期集中支援チーム員会議
	浦賀行政センター	地域運営協議会福祉部会

1月	浦賀行政センター	賀詞交歓会
	よこすか浦賀病院	PTと教室運営について会議
	久里浜医療センター	認知症初期集中支援チーム員会議
	よこすか浦賀病院	浦賀・久里浜・大津地域連携の会
	ZOOM	虐待対応検討会議
	看護小規模多機能	運営推進会議
2月	浦賀行政センター	包括的ケア会議（鴨居地区）
	浦賀行政センター	包括的ケア会議（浦賀地区）
	久里浜医療センター	認知症初期集中支援チーム員会議
	浦賀行政センター	地域運営協議会福祉部会
	町内会館	地域ケア個別会議
	ふくふく亭	運営推進会議
3月	よこすか浦賀病院	浦賀・久里浜・大津地域連携ケアマネ懇親会
	久里浜医療センター	認知症初期集中支援チーム員会議
	消費生活センター	情報交換
	看護小規模多機能	運営推進会議
	横須賀市役所	情報交換会
	ZOOM	浦賀・久里浜・大津地域連携の会
	町内会館	地域ケア個別会議
	事業所	地域ケア個別会議

2.看護小規模多機能事業(太陽の家浦賀 看護小規模多機能型居宅介護)

①予算達成(平均登録者数22名、平均介護度3.5)

- ・登録者平均：16.1
- ・平均介護度：3.9
- ・収入達成率：73.7%
- ・利益達成率：52.9%

年間を通して、人員が不安定（退職・異動希望等）であったために営業活動ができなかったこと、依頼を断らざるを得ないこともあったため、安定した利用者数を確保することが困難でした。

②退職者がでない職場づくり

- ・離職率：18.8%

目標達成のために以下施策を掲げましたが、人員が常に不安定であったため、3以外は十分に実施することができませんでした。

- 1.業務マニュアルの作成
- 2.物品管理の徹底
- 3.職員間の情報共有の構築
- 4.喀痰吸引資格取得者研修への参加
- 5.オフサイトミーティングの開催
- 6.1on1の実施

③利用者、職員にも選ばれる事業所づくり

上記と同様、人員が不安定だったため、下記4のみの実施となりました。

- 1.顧客満足度調査
- 2.職員アンケート
- 3.連携機関へのアンケート調査
- 4.外部研修への参加

④地域と関わる機会、地域に発信する機会、他社と連携する機会の増加

運営推進会議の開催のみの実施となりました。

[平均介護度（令和5年度末時点）]

看護小規模
3.9

[月別入所人数]

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
登録者	19	17	18	18	17	18	17	17	15	17	18	17	208
開始者	4	1	3	1	2	2	1	4	1	1	2	1	23
終了者	6	1	2	3	1	2	4	2	0	1	2	2	26

[事故・苦情件数]

事故	件数
転倒・転落	4
異食・盗食・誤飲	3
皮下出血	0
表皮剥離	0
作業ミス	0
暴力行為	0
誤薬・服薬漏れ・落下薬	0
骨折（原因不明含む）	1
その他	1
計	9

苦情	件数
職員の接遇	0
サービスの質・量	0
利用料	0
説明・対応	1
被害・損害	0
人員配置	0
その他	0
計	1

[利用状況]

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
稼働日数		30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	29	31	366	
ケア種別	通い	計	313	290	298	300	251	295	290	210	221	250	236	255	3209
	宿泊	計	182	147	158	159	124	170	164	103	104	122	118	123	1674
	訪問	計	217	260	295	296	255	265	251	224	260	277	253	272	3125
介護 別 延 べ 人 数	要支援1		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	要支援2		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	要介護1		2	2	2	2	2	1	1	2	2	2	3	3	24
	要介護2		2	1	2	1	1	2	2	4	3	4	2	2	26
	要介護3		2	1	0	0	1	2	1	0	0	0	2	2	11
	要介護4		6	5	6	7	5	4	4	4	4	5	4	4	58
	要介護5		7	8	8	8	8	9	9	7	6	6	7	6	89
性別	男(%)		37	40.1	37.1	46.1	55.3	51.7	56.2	55.2	63.3	55	52.2	53.5	50.2
	女(%)		63	59.9	62.9	53.9	44.7	48.3	43.8	44.8	36.7	45	47.8	46.5	49.8

[職種別職員内訳]

・総職員数39名(内 常勤職員30名、非常勤職員9名)

職種	看護小規模多機能		居宅		包括		無料低額宿泊・定期巡回・訪問介護・ケアステ	
	常勤	非常勤	常勤	非常勤	常勤	非常勤	常勤	非常勤
部長	1							
次長	1							
社会福祉士	1(兼務1)	0	0	0	4	0	0	0
主任介護支援専門員	0	0	4	0	2	0	0	0
介護支援専門員	1(兼務1)	0	1	0	2	1	0	0
保健師	0	0	0	0	1	0	0	0
介護職員	5(兼務1)	2	0	0	0	0	6(兼務1)	0
看護職員	1	4	0	0	0	0	0	0
補助	0	0	0	0	0	0	0	2
事務職員	2	0	0	0	0	0	0	0
計	10	6	5	0	9	1	6	2

※兼務職員を含むため実人数とは異なります

3.小規模多機能事業(太陽の家安浦倶楽部、太陽の家馬堀倶楽部、太陽の家逸見倶楽部、かもめ倶楽部)

①赤字事業所の黒字化

- ・収入・利益ともにかもめ倶楽部以外未達となりました。
- ・安浦と逸見の黒字化は達成できませんでした。

【収入達成率(利益額)】

- ・かもめ：100.6% (1,553千円)
- ・安浦：62.0% (-6,362千円)
- ・逸見：68.2% (-3,585千円)

《かもめ倶楽部》

毎月、病院や居宅介護支援事業所への営業訪問を実施し、予算を達成することができました。

《逸見倶楽部》

営業活動を積極的に実施して相談も多かったのですが、実際に利用に繋がるケースは多くありませんでした。ポスティングは特に力を入れて、サービス提供範囲も横須賀市北部を中心に拡大しました。

《安浦倶楽部》

人力的に目標達成のための施策の実施が困難で、結果として大幅未達となってしまいました。

《馬堀倶楽部》

介護支援専門員の採用ができず、減算になることや、職員不足もあり、令和5年8月31日付でサービスを休止しました。

②量ではなく質で満足を得られるサービスの実践

《かもめ倶楽部》

適性サービス量（過剰サービスなし）の徹底をしました。サービスに関する苦情はありませんでした。行動の指針を決め、職員間で共有、毎月や随時の会議、カンファレンスにて、不安を解消、行動や取り組みを確認し、実施することを徹底しました。ご利用者満足度調査も全項目80%以上満足の結果でした。

《逸見倶楽部》

不適切な対応や相談に対する連絡遅滞による新規のキャンセルは0件でした。利用者満足度調査では、満足している割合が90%となりました。

《安浦倶楽部》

新規相談に誰でも対応できるように聞き取りのメモを作成し、運用しました。新規獲得につながるよう、支援内容について職員間で検討しました。

③職員のケアと成長できる仕組みの構築

《かもめ倶楽部》

測定可能な個人目標の設定、1on1面談の実施(課題解決)により、各個人の成長課題の解決に取り組み、個人目標を達成することができました。また、現職員や入職する職員の教育の質の向上のため、教育・標準化システムの構築にも取り組むことができました。完成したものを仮運用し、見直しと修正を繰り返し実施しました。

《逸見倶楽部》

1on1は毎月実施できました。仕事の見える化・重要度が見える化の実施で業務効率化が図れ、残業50%削減を達成できました。

《安浦倶楽部》

1on1は実施できました。

④地域と関わる機会、地域に発信する機会、同業他社と連携する機会の増加(地域に頼ら

《かもめ倶楽部》

地域から相談を受け、困りごとに寄り添う機会を得ることができました。また地域の防災訓練に参加する他、地域行事に招待され参加しました。

《逸見倶楽部》

コロナ感染症がやや落ち着きを見せる中、地域と関わる機会、地域に発信する機会、同業他社と連携する機会は軒並み増加しました。逸見倶楽部が地域の資源として認知され、運営推進会議や町内会との関係性がより深まりました。令和5年度は、地域の祭礼への参加、クリーンよこすかキャラバン隊での地域清掃や、田浦・逸見包括支援センター主催の包括的ケア会議内で成年後見制度のプレゼンを行なう等の実績をあげることができました。

《安浦倶楽部》

民生委員や親睦会と顔を合わせる機会が日常的にあり、地域からの依頼にも対応できました。人通りの多い1F自動ドアに取り組み内容を掲示し、情報を発信することもできました。

[平均介護度（令和5年度末時点）]

安浦倶楽部	馬堀倶楽部	逸見倶楽部	かもめ倶楽部
2.5	2.9	2	3.3

[月別入所人数]

	安浦倶楽部			馬堀倶楽部			逸見倶楽部			かもめ倶楽部		
	登録者	開始者	終了者	登録者	開始者	終了者	登録者	開始者	終了者	登録者	開始者	終了者
4月	20	1	5	7	1	0	7	0	2	/	/	/
5月	17	1	3	8	1	0	5	1	1	/	/	/
6月	14	0	2	8	0	1	5	0	0	/	/	/
7月	13	3	0	7	0	0	5	2	0	/	/	/
8月	15	1	0	7	0	7	7	1	0	1	10	0
9月	16	0	0	/	/	/	8	0	2	10	1	0
10月	16	0	1	/	/	/	6	1	1	11	2	2
11月	15	1	2	/	/	/	6	0	0	12	1	1
12月	14	0	1	/	/	/	6	1	1	11	1	1
1月	13	1	2	/	/	/	6	0	0	11	2	1
2月	12	0	0	/	/	/	6	3	1	12	0	0
3月	12	0	0	/	/	/	8	1	0	13	6	1
計	177	8	16	37	2	8	75	10	8	49	23	6

[事故件数]

	安浦倶楽部	馬堀倶楽部	逸見倶楽部	かもめ倶楽部
転倒・転落	4	0	0	1
異食・盗食・誤飲	0	0	0	0
皮下出血	1	0	0	0
表皮剥離	1	0	0	0
作業ミス	0	0	0	0
暴力行為	0	0	0	0
誤薬・服薬漏れ・落下薬	2	0	0	1
骨折（原因不明含む）	0	0	0	0
その他	0	0	0	0
計	8	0	0	2

[苦情受付件数]

	安浦倶楽部	馬堀倶楽部	逸見倶楽部	かもめ倶楽部
職員の接遇	0	0	1	0
サービスの質・量	0	0	0	0
利用料	0	0	0	0
説明・対応	0	0	0	0
被害・損害	0	0	0	0
人員配置	0	0	0	0
その他	0	0	0	0
計	0	0	0	0

■太陽の家安浦倶楽部

[利用状況]

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
稼働日数		30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	29	31	366	
ケア種別	通い	計	197	184	136	133	119	120	118	125	136	111	87	116	1582
	宿泊	計	27	17	25	59	105	124	115	68	51	59	68	64	782
	訪問	計	120	141	112	106	90	90	86	94	137	112	103	121	1312
介護別延べ人数	要支援1		4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4
	要支援2		18	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	18
	要介護1		158	184	154	81	40	44	34	50	75	68	56	54	998
	要介護2		90	111	93	129	162	160	0	136	127	184	103	115	1410
	要介護3		43	14	12	14	19	13	13	13	14	16	24	27	222
	要介護4		16	16	0	38	37	35	0	34	35	34	0	0	245
	要介護5		15	17	14	36	62	82	0	54	73	60	75	105	593
性別	男(%)		34.9	39.2	27.8	32.6	31.5	28.7	31.3	17.4	8.3	7.8	4.7	7.3	22.6
	女(%)		65.1	60.8	72.2	67.4	68.5	71.8	68.7	82.6	91.7	92.2	95.3	92.7	77.4

■太陽の家馬堀倶楽部

[利用状況]

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
稼働日数		30	31	30	31	31	/	/	/	/	/	/	/	153
ケア種別	通い	計	56	62	68	61	49	/	/	/	/	/	/	296
	宿泊	計	0	0	0	0	0	/	/	/	/	/	/	0
	訪問	計	163	181	186	151	129	/	/	/	/	/	/	810
介護別延べ人数	要支援1		0	0	0	0	0	/	/	/	/	/	/	0
	要支援2		0	0	0	0	0	/	/	/	/	/	/	0
	要介護1		2	2	2	2	2	/	/	/	/	/	/	10
	要介護2		1	2	2	2	2	/	/	/	/	/	/	9
	要介護3		1	1	1	1	1	/	/	/	/	/	/	5
	要介護4		3	3	3	2	2	/	/	/	/	/	/	13
	要介護5		0	0	0	0	0	/	/	/	/	/	/	0
性別	男(%)		40.6	36.2	41.7	22.2	24.7	/	/	/	/	/	/	33.1
	女(%)		59.4	63.8	58.3	77.8	75.3	/	/	/	/	/	/	66.9

■太陽の家逸見倶楽部

[利用状況]

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
稼働日数		30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	29	31	366	
ケア種別	通い	計	78	65	56	65	67	52	30	27	33	32	55	64	624
	宿泊	計	3	2	1	1	4	1	0	0	0	0	0	1	13
	訪問	計	117	82	67	70	120	133	92	79	74	88	110	128	1160
介護別延べ人数	要支援1		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	要支援2		6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6
	要介護1		32	41	49	48	61	79	57	55	56	54	32	34	598
	要介護2		24	25	22	32	56	51	44	40	37	51	107	102	591
	要介護3		136	83	53	49	65	19	2	3	5	4	18	48	485
	要介護4		0	0	0	7	9	9	17	8	9	11	8	9	87
	要介護5		0	0	0	0	0	28	0	0	0	0	0	0	28
性別	男(%)		43	50	34	25	50	25	25	20	25	20	35	35	32.3
	女(%)		57	50	66	75	50	75	75	80	75	80	65	65	67.8

■かもめ倶楽部

[利用状況]

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
稼働日数		/	/	/	/	31	30	31	30	31	31	29	31	244
ケア種別	通い	計	/	/	/	46	92	131	125	98	106	102	106	806
	宿泊	計	/	/	/	0	0	1	0	0	5	5	4	15
	訪問	計	/	/	/	40	117	239	254	228	252	252	304	1686
介護別延べ人数	要支援1		/	/	/	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	要支援2		/	/	/	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	要介護1		/	/	/	11	32	35	8	9	8	7	17	127
	要介護2		/	/	/	40	78	158	122	70	57	64	87	676
	要介護3		/	/	/	1	21	33	25	53	91	87	80	391
	要介護4		/	/	/	5	35	99	166	129	152	141	228	955
	要介護5		/	/	/	29	43	46	58	65	55	60	2	358
性別	男(%)		/	/	/	17.4	28.2	21.6	29.3	30.4	19.8	16.4	12.8	22
	女(%)		/	/	/	82.6	71.8	78.4	70.7	69.6	80.2	83.6	87.2	78

[職種別職員内訳]

・総職員数24名(内 常勤職員12名、非常勤職員12名)

職種	太陽の家安浦倶楽部		太陽の家馬堀倶楽部		太陽の家逸見倶楽部		かもめ倶楽部			
	常勤	非常勤	常勤	非常勤	常勤	非常勤	常勤	非常勤		
部長	1									
次長	1									
介護支援専門員	1(兼務1)	0	/	/	/	/	0	1	1(兼務1)	0
介護職員	6(兼務1)	4	/	/	/	/	1	3	5(兼務1)	3
補助職員	0	0	/	/	/	/	0	0	0	0
看護職員	0	0	/	/	/	/	0	0	0	1
計	7	4	/	/	/	/	1	4	6	4

※介護支援専門員は、介護職員と兼務 また兼務職員を含むため実人数とは異なります

4.訪問介護事業(太陽の家浦賀 定期巡回随時対応型訪問介護看護、太陽の家浦賀ケアステーション)

①事業所予算の達成

《定期巡回》収入予算達成率：79.1% 利益予算達成率：74.0%

上期は予算の設定ミス(同一建物、通所減算を含まず)があり、予算との乖離が大きくなってしまいました。下期は有料安浦ご利用者の退去が予想より早かったため、予算との乖離が生じました。また、職員の異動や他事業所が人員不足となった際に応援職員を派遣したために、人員不足から新規利用者の獲得が出来ませんでした。

《訪問介護》収入予算達成率：126.9% 利益予算達成率：1,792%

訪問介護は想定していたより、多くの利用者を獲得することができました。

②常勤職員の役割強化

職員によるアセスメント表・自宅内の配置図・手順書の作成を進めましたが、全て作成するまでには至りませんでした。また、管理者が常勤職員と初回同行訪問・担当者会議に出席することを予定していましたが、人員不足が続いたため、管理者単独での活動が多くあり、職員全員に実施することができませんでした。

③職員の質の向上と事業の継続

接遇面に重点を置き、訪問時の対応や言葉遣い、記録に関して、いつ、誰に見られても恥ずかしくないサービスの実施を心がけ実施できました。また、ご利用者の状態の変化やご希望について、関係居宅や訪問看護ステーション、主治医と連携をとる事ができました。

④地域の行事に参加することで地域貢献と地域に密着した事業を目指す

地域活動への参加については、人員不足のため実施できませんでした。令和5年度は介護・医療連携推進会議を10月と3月に開催しました。

[定期巡回随時対応型訪問介護看護契約状況]

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
契約者数	34	32	38	35	35	32	32	23	21	20	20	16	338

[訪問介護契約状況・訪問回数]

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
契約者数	16	15	19	17	17	17	14	12	12	10	10	12	171
訪問回数	241	216	319	472	347	324	352	239	196	124	114	126	3070

[事故・苦情件数]

事故	件数
転倒・転落	0
異食・盗食・誤飲	0
皮下出血	0
表皮剥離	0
作業ミス	0
暴力行為	0
誤薬・服薬漏れ・落下薬	0
骨折（原因不明含む）	0
その他	0
計	0

苦情	件数
職員の接遇	0
サービスの質・量	0
利用料	0
説明・対応	0
被害・損害	0
人員配置	0
その他	1
計	0

5.住宅型有料老人ホーム事業(太陽の家公郷、太陽の家安浦)

①予算達成

【収入】 予算達成率

- ・安浦：98.2%
- ・公郷：124.6%

【利益】 予算達成率

- ・安浦：-663千円（マイナス予算のため率の算出はできず）
- ・公郷：+1,482千円（マイナス予算のため率の算出はできず）

②サービス転換の実行

《太陽の家公郷》

予定通り令和5年10月末で閉所し、11月からグループホームにサービス転換済です。

《太陽の家安浦》

予定通り令和6年3月末で閉所し、令和6年5月から障がい者グループホームにサービス転換済です。

[平均介護度（令和5年度末時点）]

公郷	安浦
3	2.4

[月別入所人数]

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
公郷	1	1	1	2	1	2	1	/	/	/	/	/	9
安浦	4	1	4	1	0	1	0	1	0	0	0	0	12

[月別退所人数]

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
公郷	1	2	0	0	4	1	2	/	/	/	/	/	10
安浦	1	2	3	3	0	1	0	1	4	4	1	1	21

[入所・退所経路]

入所	公郷	安浦
居宅	0	1
医療機関	7	0
有料老人ホーム	2	0
老人福祉施設	0	0
その他	0	11
計	9	12

退所	公郷	安浦
死亡	3	0
居宅	1	0
医療機関	2	2
老人福祉施設	4	3
その他	0	16
計	10	21

[事故・苦情件数]

事故	公郷	安浦
転倒・転落	2	5
異食・盗食・誤飲	0	0
皮下出血	0	0
表皮剥離	1	0
作業ミス	0	0
暴力行為	0	0
誤薬・服薬漏れ・落下薬	0	0
骨折(原因不明含む)	1	0
その他	0	1
計	4	6

苦情	公郷	安浦
職員の接遇	0	1
サービスの質・量	0	0
利用料	0	0
説明・対応	0	0
被害・損害	0	0
人員配置	1	0
その他	0	0
計	1	1

[職種別職員内訳]

・総職員数6名(内 常勤職員2名、非常勤職員4名)

職種	太陽の家安浦	
	常勤	非常勤
部長	0	0
次長	0	0
介護職員(助手含)	2	4
看護職員	0	0
宿直	0	0
計	2	4

6.無料低額宿泊事業(太陽の家浦賀 無料低額宿泊所)

①平均95%の稼働率の維持

【結果】93.7%

上期は生活福祉課、居宅介護支援事業所、病院へ営業し、空き情報を伝えていましたが、介護度が低い方が多く、満床には至りませんでした。

下期は生活福祉課への情報提供を密に行い、満床月をキープする事が出来ましたが、1月、2月と退居者が続いたため、目標達成はできませんでした。

②利用者が主体性を持ち、社会生活が営める支援を行う

日常生活における状態変化や状況等を記録し、所内での申し送りを行ない、ケアマネジャーに都度報告を行うことができました。昨年度より自宅復帰を目指していた方が外出・買い物を行い、今年度より要支援となったため、ご自宅に戻れるよう、介護職、ケアマネジャー、家族と連携を図りました。

[月別入退所状況]

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
入所	2	1	2	1	2	0	1	1	0	0	3	0	13
退所	3	0	3	1	0	1	0	1	0	1	2	0	12

[入所・退所経路]

入所	件数
居 宅	3
医療機関	5
有料老人ホーム	5
老人福祉施設	0
その他	0
計	13

退所	件数
死 亡	10
居 宅	0
医療機関	0
老人福祉施設	2
その他	0
計	12

[事故・苦情件数]

事故	件数
転倒・転落	0
異食・盗食・誤飲	0
皮下出血	0
表皮剥離	0
作業ミス	0
暴力行為	0
誤薬・服薬漏れ・落下薬	0
骨折(原因不明含む)	0
その他	0
計	0

苦情	件数
職員の接遇	0
サービスの質・量	0
利用料	0
説明・対応	0
被害・損害	0
人員配置	0
その他	0
計	0

7.障がい福祉サービス事業(太陽の家マリオ)

①転居準備の実施

現施設の建物の老朽化に伴い令和6年5月末にて転居が必要となったため、以下を実施し、予定通り準備を完了することができました。

- ・転居にあたっての経営的なシュミレーション
- ・ご利用者、ご家族への説明
- ・新居の改築(浴室増設)

[月別入退所状況]

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
入所	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
退所	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1

[入所・退所経路]

入所	件数
居 宅	0
医療機関	0
有料老人ホーム	0
老人福祉施設	0
その他	0
計	0

退所	件数
死 亡	1
居 宅	0
医療機関	0
老人福祉施設	0
その他	0
計	1

[事故・苦情件数]

事故	件数
転倒・転落	0
異食・盗食・誤飲	0
皮下出血	0
表皮剥離	0
作業ミス	0
暴力行為	0
誤薬・服薬漏れ・落	0
骨折(原因不明含)	0
その他	0
計	0

苦情	件数
職員の接遇	0
サービスの質・量	0
利用料	0
説明・対応	0
被害・損害	0
人員配置	0
その他	0
計	0

[職種別職員内訳]

・総職員数11名(内 常勤職員1名、非常勤職員10名)

職種	太陽の家マリオ	
	常勤	非常勤
部長	0	0
次長	0	0
介護職員(助手含)	1	6
看護職員	0	0
宿直	0	4
計	1	10

8.認知症対応型共同生活介護事業(太陽の家公郷)

①予算達成

【収入】91.9%

【利益】+11,140千円

支出を予算の7割程度に抑えることができたことにより、利益は11,140千円となりました。11月より認知症対応型共同生活介護へ事業転換し、毎月1名のペースで新規の契約を行う事が出来ました。しかし3月は新規の利用者契約はなく、目標に掲げていた入居者数を達成することは出来ませんでした。

②認知症の理解を深め、個別ケアを実践する。苦情0件を目指す。

グループホームの役割理解、利用者1人1人に寄り添った計画作成、支援内容の共有、定例および臨時カンファレンスの実施により、個別ケアに対応することが出来ました。住宅型有料老人ホームの頃から入居されているご家族からは「グループホームに転換して活気が出てきた」「目が行き届いた介護をしている」との言葉をいただきました。また事業転換後の苦情は0件であり、目標を達成することができました。

③職員のケアと成長できる仕組みの構築

測定可能な個人目標の設定を行う予定でしたが、グループホームの役割を十分に理解できず目標設定を行うのに時間を要しました。1on1面談の実施については、職員が置かれている環境に目を向け、個人の視点で満足度を上げるために目標の設定や進捗を確認してきました。職員が定着することに時間を要し、毎月実施はできませんでした。課題や改善に関しては、職員全体で話し合いを行い解決するよう努めました。研修を確実に実施することにより職員の意識が高まりました。教育、標準化システム構築の為に介護マニュアルを作成し職員に周知を行いました。

④地域から見守って頂けるような施設づくり

運営推進会議に関して、初めての実施でしたが12月・2月に地域代表の方、地域包括、ご家族の協力のもと開催することが出来ました。また、音楽療法レクやハーモニカの会のボランティアの開催を月1で実施することが出来ました。

[平均介護度(令和5年度末時点)]

公郷GH
2.6

[月別入退所人数]

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
入所	/	/	/	/	/	/	/	12	2	1	1	0	16
退所	/	/	/	/	/	/	/	0	1	1	0	0	2

[入所・退所経路]

入所	件数
居宅	0
医療機関	2
有料老人ホーム	11
老人福祉施設	0
その他	3
計	16

退所	件数
死亡	0
居宅	1
医療機関	1
老人福祉施設	0
その他	0
計	2

[事故・苦情件数]

事故	件数
転倒・転落	0
異食・盗食・誤飲	0
皮下出血	0
表皮剥離	0
作業ミス	0
暴力行為	0
誤薬・服薬漏れ・落下薬	0
骨折(原因不明含む)	0
その他	0
計	0

苦情	件数
職員の接遇	0
サービスの質・量	0
利用料	0
説明・対応	0
被害・損害	0
人員配置	0
その他	0
計	0

[職種別職員内訳]

・総職員数18名(内 常勤職員4名、非常勤職員14名)

職種	太陽の家公郷	
	常勤	非常勤
部長	1	0
次長	1	0
介護職員(助手含)	4	14
看護職員	0	0
宿直	0	0
計	4	14

(6) 歯科事業

1. 太陽の家附属歯科診療所・太陽の家和田の里歯科診療所

- ① 外来患者をより一層増やし、歯科健康相談、食生活相談の場を設けることで、口腔に意識を持たせる
【附属歯科】

歯科診療に関する知識が十分でない患者も多いため、気軽に通える、話せる雰囲気作りを心掛けました。また月1回、診療所1階にて「ぬくもりかふえ」を開催しているため、そちらと連携し、歯科のみならず全身の健康相談に対応しました。

【和田の里歯科】

歯科治療時間内に、口腔のみならず全身の健康相談に対処し、地域に根ざした「かかりつけ歯科医」として外来患者獲得を図りました。その結果、多くの外来患者において、健康への意識改革を実現することができました。

- ② 介護施設とのかかわりを強化する

【附属歯科】

法人施設に対しては「附属歯科」として、他院よりも厚みのあるサービスを提供しました。一方、他施設に対しては口腔ケアの充実を図り、施設側との連携を大事にすることにより他院よりも患者を獲得できるように心掛けました。

【和田の里歯科】

残念ながら、診療所周辺の介護施設へのアプローチは不十分でした。

- ③ 定着しやすく、働きやすい誇りを持てる職場づくり

【附属歯科】

「報告・連絡・相談」のコミュニケーションを図り、チームとしてお互いにフォローしながら働きやすい環境を作りました。今後、セミナー参加や勉強会等で個々のスキルアップに努めていきます。

【和田の里歯科】

下半期は常勤歯科衛生士の異動（令和5年10月～）により、歯科診療体制が充実しました。そのことにより、快適な職場環境が実現しました。

- ④ 地域的に人口減少が進行しているが、必要とされる診療所を目指す

【附属歯科】

高齢者が多い地域なので、口コミで来院される新患もいました。身体的に外来に通うのが難しくなった患者には、引き続き附属歯科が訪問診療にて診れることをお伝えし、包括と連携しながら診療に繋げていきます。

【和田の里歯科】

・三浦市内（三崎・引橋地区等）だけではなく、横須賀市近隣（長井、長坂、武、太田和、南下浦等）からも紹介患者が来院しました。今後もホームページを充実させ、口コミから来院される新患を増やす努力を継続しながら、地域に必要とされる診療所を目指します。

2. 歯科診療所優会

① 収支を安定させる

【月平均売上300万円を目指す】

年間売上35,859千円（月平均2,988千円）のため、月目標売上には到達できませんでした。2024年2月より訪問先患者のスケジュール管理を徹底したことで、月売上300万に近づくことができました。今年度は訪問患者スケジュール管理の徹底を引き続き取組み、また、医療・介護保険の点数の取り方を工夫することで、安定した売上を実現できるように取組んでいきます。

【新規患者数月5名】

新患数月平均12人、月の新患数が7名を切ることはありませんでした。外来新患数の月平均が4人だったため、今年度は外来の新患数も増やしていくことを課題として取組んでいきます。また、新患獲得に向けて積極的に法人内施設イベント等にも参加し、医院PRを行っていきます。

【自費金額月平均10万円を維持する】

年間の自費金額は242千円（月平均20千円）と大幅な未達となりました。今年度はまず外来の患者数を増やし、患者に保険診療だけでなく自費診療も選択してもらえるようにカウンセリングの方法を見直していきます。また、今年度は自費診療に関するキャンペーンなども企画することで、自費売上アップを目指します。

② 新患及びリピーターを増やす

【新規患者数を月平均5名増やす】

収入を安定させる項目に記載のとおり、外来患者の新患数を今年度は増やしていく取組みを実行していきます。

【再診を促す手紙の発行と実際の再診率の向上】

再診を促すためのリコールはがきの送付を徹底しました。2022年度（延患者数4,469人、再診患者数3,703人：再診率82.8%）から2023年度（延患者数6,185人、再診患者数5,425人：再診率87.6%）へ向上できましたが、外来だけ見ると2022年度（68.2%）2023年度（69.8%）と横ばいだったため、今年度は外来の再診率向上に更に取り組みます。

【診療所内の環境整備】

待合室に配置している物販系のレイアウトなども見直し、歯科診療室の雰囲気为患者にとって心地よい空間づくりに取り組みました。また、院内のBGMを変更することで、継続して通ってもらえる歯科医院の雰囲気づくりに努めました。

③ 摂食嚥下についての専門知識を向上させる

【摂食嚥下についての知識を増やす】

日本摂食嚥下リハビリテーション学会の会員となり、知識向上に向けて取り組みました。

【安全に食事を食べられるようお手伝いをする】

VEを導入していただけたことで摂食嚥下に対する診療も開始できる状態にはなりましたが、VEの提供までには至りませんでした。今年度はVEに対する知識・技量を深め、患者・ご家族に更に喜ばれる診療ができるよう、VEの本格的な活用を進めます。

【業務の効率化を図る】

手書きによる書類記載からPC等活用したデータ入力方式への切り替えを開始することができました。今年度は更にIT化を推進していくことで、業務の効率化を図り残業時間を削減していきます。

④ 地域の口腔衛生の知識向上に貢献する

【エリア内施設の職員の知識向上に資する】

エリア内施設職員に対する講習会は実施することができませんでした。今年度はエリア内施設の会議等へ積極的に参加し、口腔内に関する情報発信とVE導入に伴う嚥下障害に関する情報発信を行っていきます。

【横浜含めエリア内に所在する法人内事業所の地域向けの講習会を開催する】

法人内事業所での地域向け講習会の開催は拠点配属の歯科衛生士が行いました。今年度は診療所内の職員も講習会を開催することで、優会の歯科診療に対する思い・取組み事例を地域住民に発信する活動を推進します。

【現在行っていない、横浜地域の医療（歯科）の過疎地域へ講習会又は診療をアプローチする】

地域の地域包括などへの講習会のアプローチが出来ませんでした。今年度は、歯科治療だけでなく地域包括や訪問看護事業所、ケアマネ事業所等が求めている情報などを察知し、優会に依頼すると診療もその他のことも安心してお願いできると思われるような渉外活動を積極的に行っていきます。

3診療所比較データ

①外来利用状況

	附属歯科		和田の里		優会	
	件数	平均点	件数	平均点	件数	平均点
4月	103	1248	48	1642	66	979
5月	98	1229	49	1426	61	896
6月	102	1094	52	1375	70	1105
7月	98	1111	48	1429	71	1014
8月	105	1170	37	1127	73	906
9月	112	1203	42	1625	68	1081
10月	106	1225	44	1526	70	1026
11月	97	1187	49	1599	78	946
12月	102	974	57	1606	66	1252
1月	122	1086	55	1615	55	725
2月	107	1156	62	1499	69	1013
3月	115	1205	61	1411	71	1138
計	1267	1157	604	1490	818	1007

②居宅往診利用状況

	附属歯科		和田の里		優会	
	件数	平均点	件数	平均点	件数	平均点
4月	13	2449	0	0	11	1770
5月	12	1840	0	0	15	2276
6月	11	1877	0	0	17	2689
7月	9	1314	0	0	14	2387
8月	12	1295	0	0	11	2872
9月	12	1797	0	0	12	1691
10月	12	2496	0	0	9	2109
11月	13	1447	0	0	13	2228
12月	12	1929	0	0	11	2220
1月	16	1965	0	0	13	2018
2月	16	1942	0	0	15	2930
3月	18	2121	0	0	15	2997
計	156	1873	0	0	156	2349

③法人施設利用状況

	附属歯科		和田の里		優会	
	件数	平均点	件数	平均点	件数	平均点
4月	204	1036	0	0	37	1008
5月	196	931	0	0	46	1135
6月	203	1091	0	0	81	990
7月	208	918	0	0	78	827
8月	197	947	0	0	60	936
9月	203	953	0	0	81	842
10月	210	1004	0	0	49	706
11月	201	938	0	0	62	883
12月	184	990	0	0	80	795
1月	205	885	0	0	98	743
2月	207	925	0	0	105	947
3月	207	1019	0	0	108	814
計	2425	970	0	0	885	886

④他法人施設利用状況

	附属歯科		和田の里		優会	
	件数	平均点	件数	平均点	件数	平均点
4月	125	1204	0	0	96	886
5月	122	1453	0	0	95	840
6月	134	1179	0	0	116	1060
7月	123	1239	0	0	134	866
8月	114	1158	0	0	128	752
9月	115	1234	0	0	128	802
10月	118	1400	0	0	116	838
11月	133	1145	0	0	124	720
12月	102	1056	0	0	148	728
1月	114	1210	0	0	160	861
2月	130	1208	0	0	169	1209
3月	127	1183	0	0	179	1310
計	1457	1222	0	0	1593	906

⑤介護保険件数

	附属歯科	和田の里	優会
	件数	件数	件数
4月	16	0	11
5月	14	0	15
6月	6	0	16
7月	7	0	13
8月	7	0	10
9月	6	0	9
10月	7	0	1
11月	10	0	1
12月	12	0	1
1月	17	0	1
2月	15	0	1
3月	16	0	1
計	133	0	80

[職種別職員内訳]

・総職員数25名(内 常勤職員14名、非常勤職員11名)

職種	附属歯科		和田の里		優会	
	常勤	非常勤	常勤	非常勤	常勤	非常勤
歯科医師	1	5	1	0	1	2
歯科衛生士	2	2	1	0	2	2
助手	1	0	0	0	0	0
助手兼受付	2	0	1	0	1	0
事務	0	0	0	0	1	0
計	6	7	3	0	5	4